

**飯塚市地域福祉に関するアンケート調査
調査結果報告書**

令和4年8月

目次

■調査概要.....	1
■あなたご自身について.....	2
■「地域」とのかかわりについて.....	13
■防災対策について.....	55
■福祉政策全般について.....	60
■地域福祉に関連する福祉制度について.....	94

■調査概要

1. 実施概要

- 調査対象者：令和4年5月1日現在、飯塚市に住んでいる18歳以上の方
- 対象者数：3,000人
- 調査期間：令和4年6月17日～令和4年7月16日まで
- 調査方法：郵送調査法、WEB調査の併用

2. 回収結果

配布数	有効回収数	有効回答率
3,000件	1,410 ・郵送による回答：1,280 ・WEBによる回答：130	47.0%

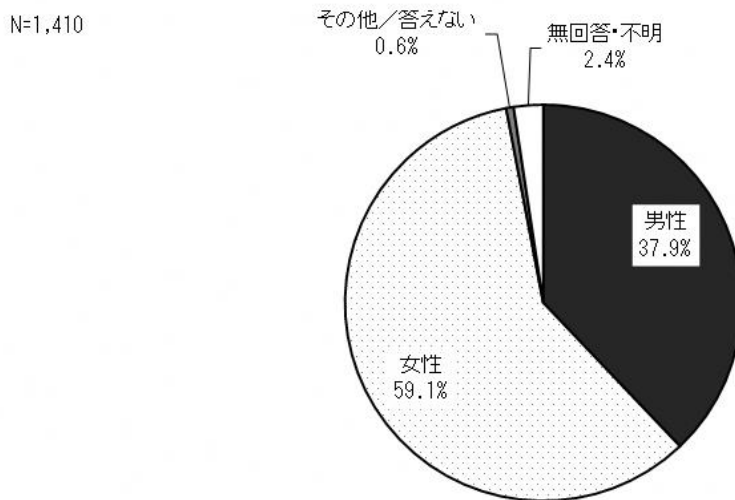
※調査集計にあたっての留意事項

- 回答結果は小数点第2桁目を四捨五入しています。この関係で、単数回答の合計値がちょうど「100.0」にならない場合があります。
- 複数回答（2つ以上の回答を選ぶ形式）における割合についての単位はパーセントとしています。この場合、回答は有効標本数全体に対して各々の割合を示すものであり、各選択肢の回答を合計しても「100.0」とはなりません。
- 図表中において「無回答・不明」とある項目については、「回答のなかったもの」、もしくは「判別ができなかったもの」を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 本報告書において横棒グラフでの表示計は、グラフ表示が煩雑になるため、回答のなかった選択肢は数値の表示（0.0の場合）を省略しています。
- 本報告書においてクロス集計は、無回答があるため、合計人数は全体の人数と合致しません。
- クロス集計で、母数が少ない項目に関しては、分析文を省略しています。

■あなたご自身について

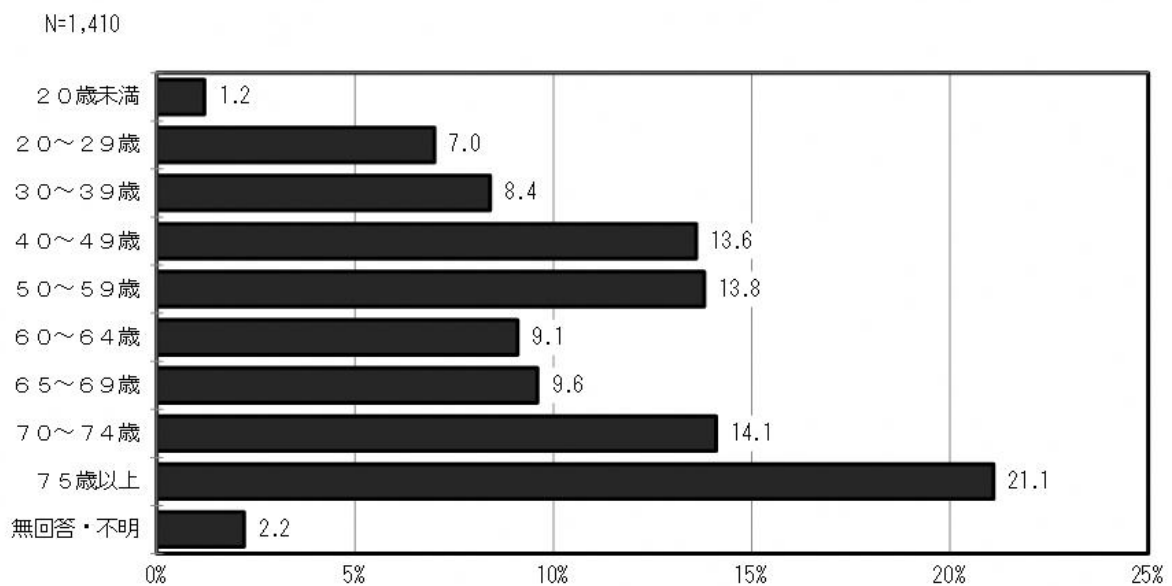
問1 あなたの性別は？(ひとつだけ○)

「女性」が59.1%、「男性」が37.9%、「その他/答えない」が0.6%となっています。



問2 あなたの年齢は、何歳ですか。(ひとつだけ○)

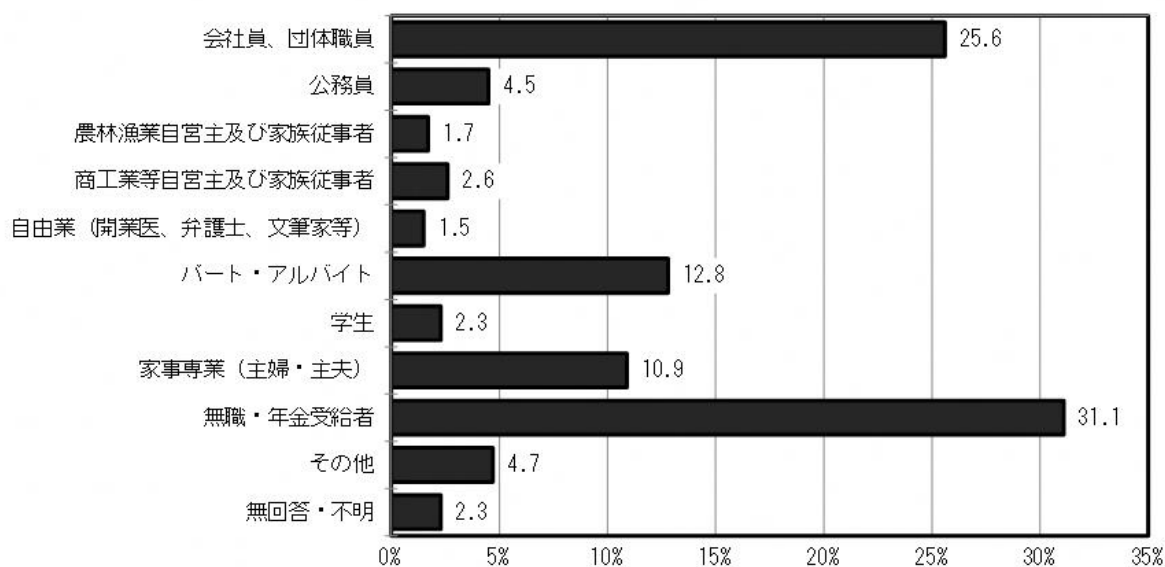
「75歳以上」が21.1%、「70～74歳」が14.1%、「50～59歳」が13.8%となっています。



問3 あなたの主な職業は何ですか。(ひとつだけ○)

「無職・年金受給者」が31.1%、「会社員、団体職員」が25.6%、「パート・アルバイト」が12.8%となっています。

N=1,410

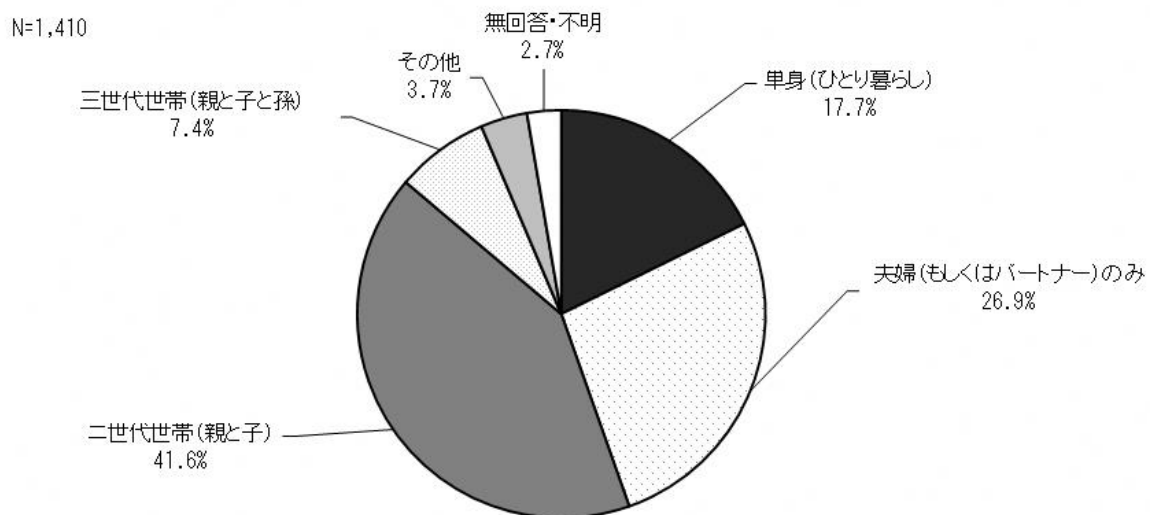


【その他】（抜粋）

- ・ 会社役員
- ・ 契約社員
- ・ 建設業
- ・ 保育士
- ・ 薬剤師
- ・ 飲食業
- ・ 就労支援施設
- ・ 看護師
- ・ 自営業
- ・ 実家で介護中
- ・ 自宅療養

問4 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(ひとつだけ○)

「二世世代世帯（親と子）」が41.6%、「夫婦（もしくはパートナー）のみ」が26.9%、「単身（ひとり暮らし）」が17.7%となっています。



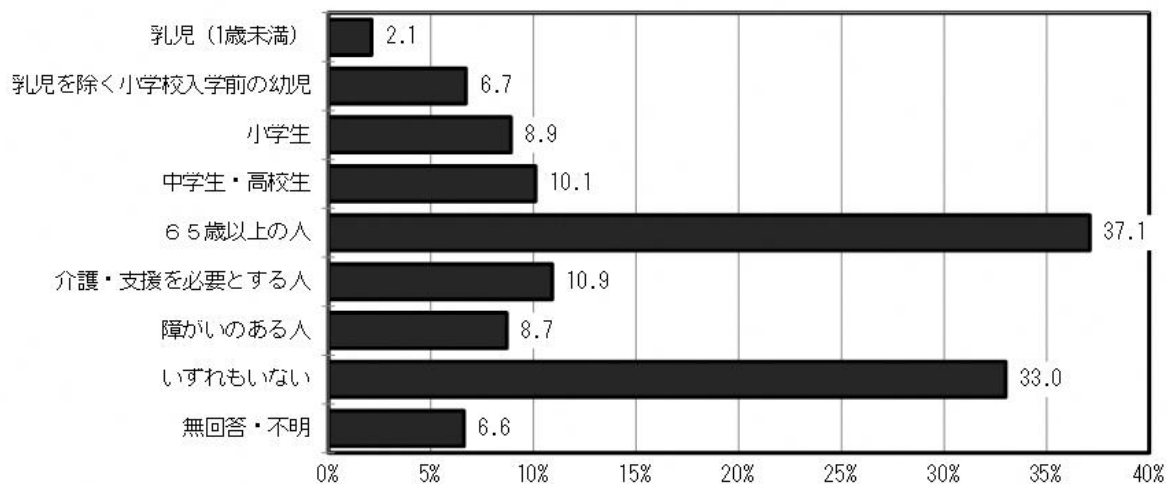
【その他】(抜粋)

- ・ 施設入所
- ・ 姉妹、兄弟
- ・ 孫と二人、夫婦と孫（3人暮らし）
- ・ 寮生
- ・ 弟夫婦、夫婦と義妹

問5 あなたが現在一緒に住んでいるご家族の中に、次のような人(あなた自身も含まれます)はおられますか。(あてはまるものすべてに○)

「65歳以上の人」が37.1%、「いずれもない」が33.0%、「介護・支援を必要とする人」が10.9%となっています。

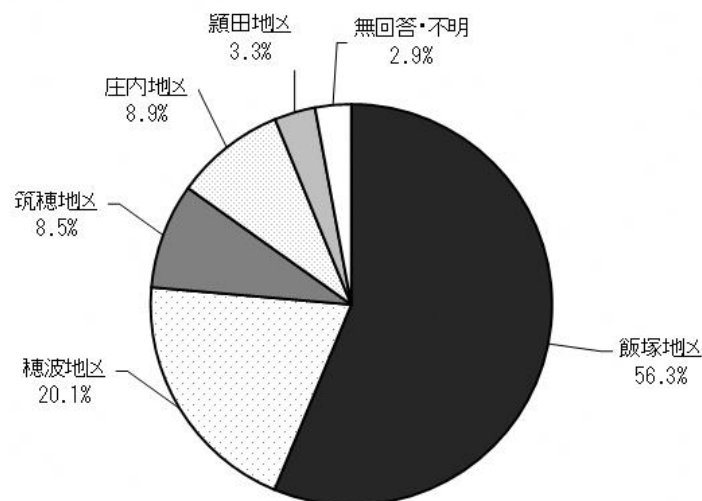
N=1,410



問6 あなたが住んでいる地域はどちらですか。(ひとつだけ○)

「飯塚地区」が56.3%、「穂波地区」が20.1%、「庄内地区」が8.9%、「筑穂地区」が8.5%、「穎田地区」が3.3%となっています。

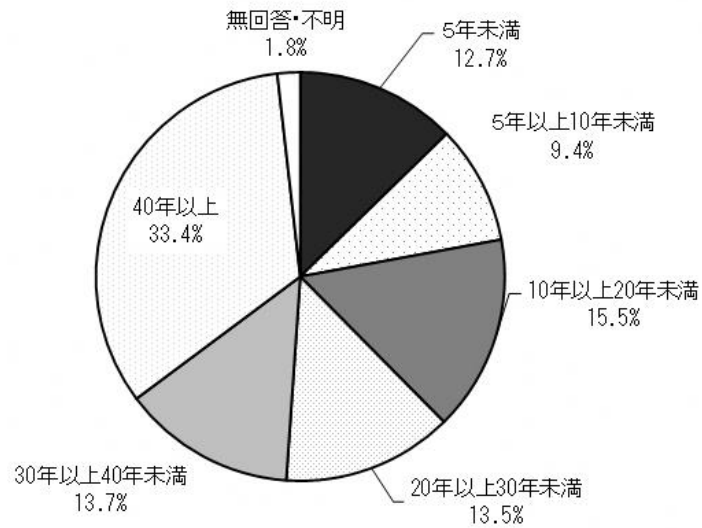
N=1,410



問7 あなたは今お住まいの地域に住んで何年になりますか。(ひとつだけ○)

「40年以上」が33.4%、「10年以上20年未満」が15.5%、「30年以上40年未満」が13.7%となっています。

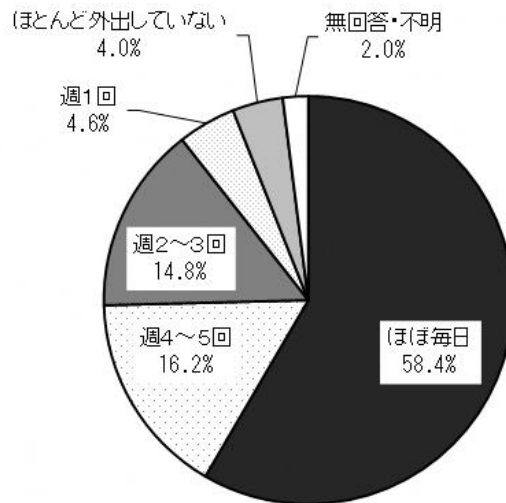
N=1,410



問8 あなたはどれくらい外出していますか。散歩やウォーキング、買い物など日課にしていることや、仕事も含めてください。(ひとつだけ○)

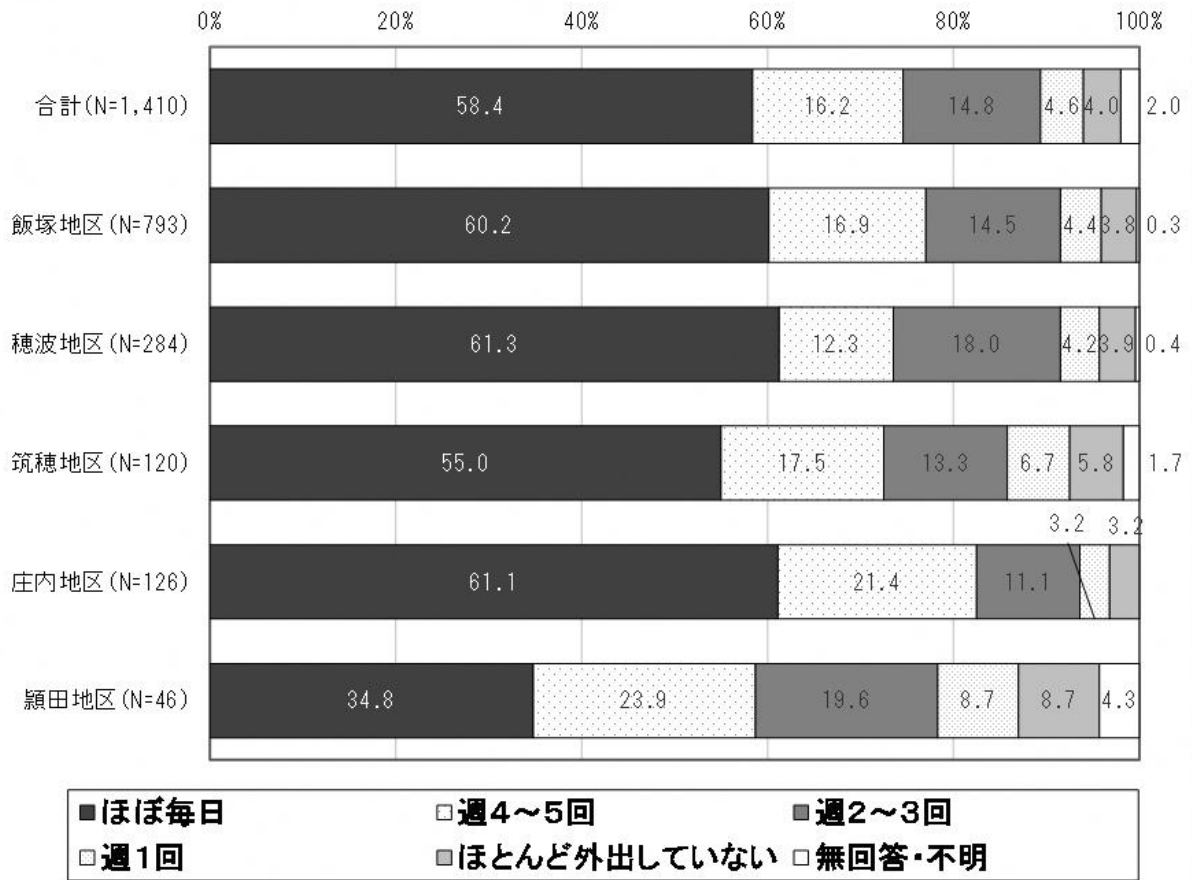
「ほぼ毎日」が58.4%を占めています。「週4～5回」が16.2%、「週2～3回」が14.8%で続いています。

N=1,410



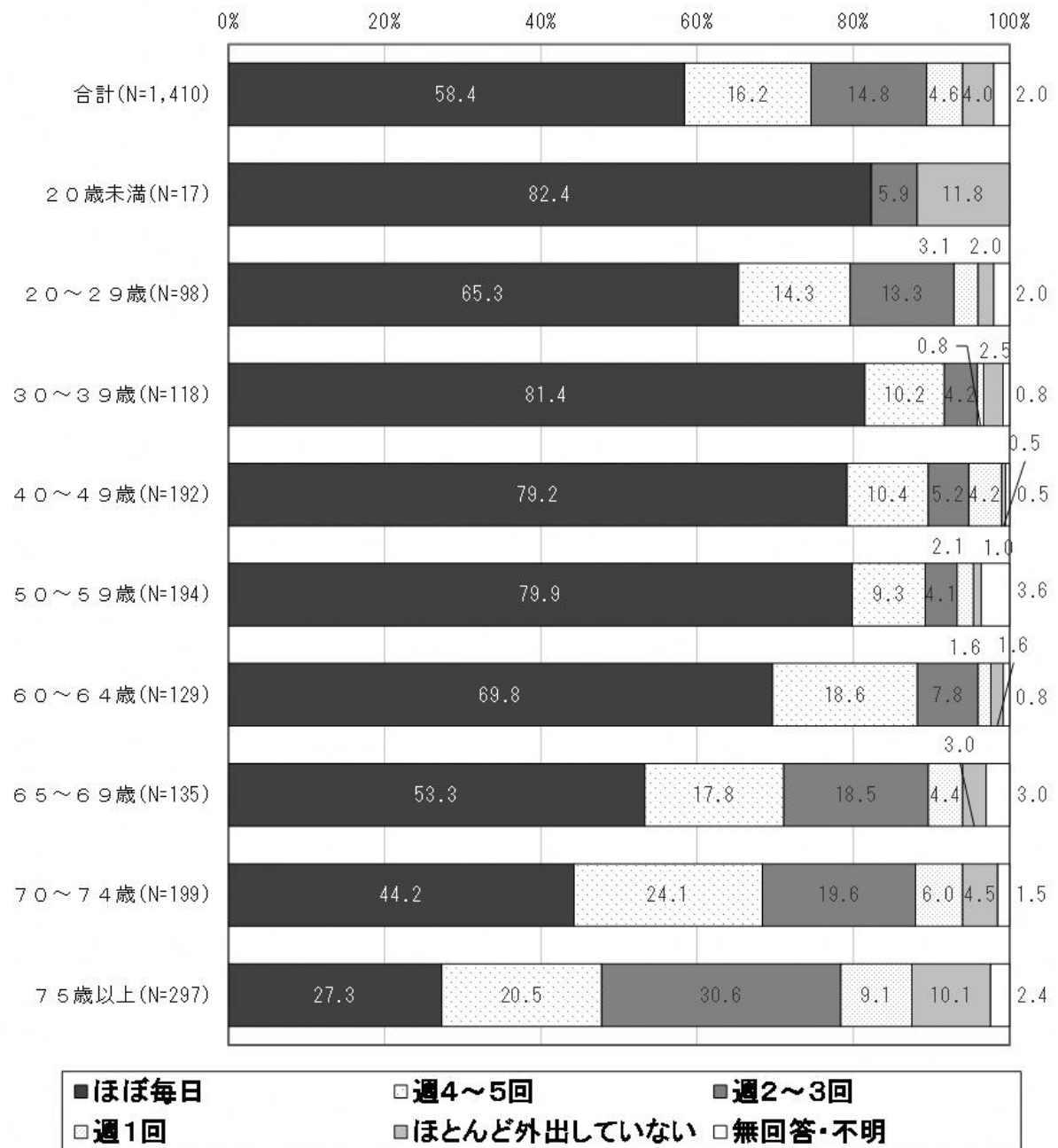
【地区別クロス集計】

地区別にみると、「**穎田地区**」は、他の地区と比較して「**ほぼ毎日**」の割合が低くなっています。



【年代別クロス集計】

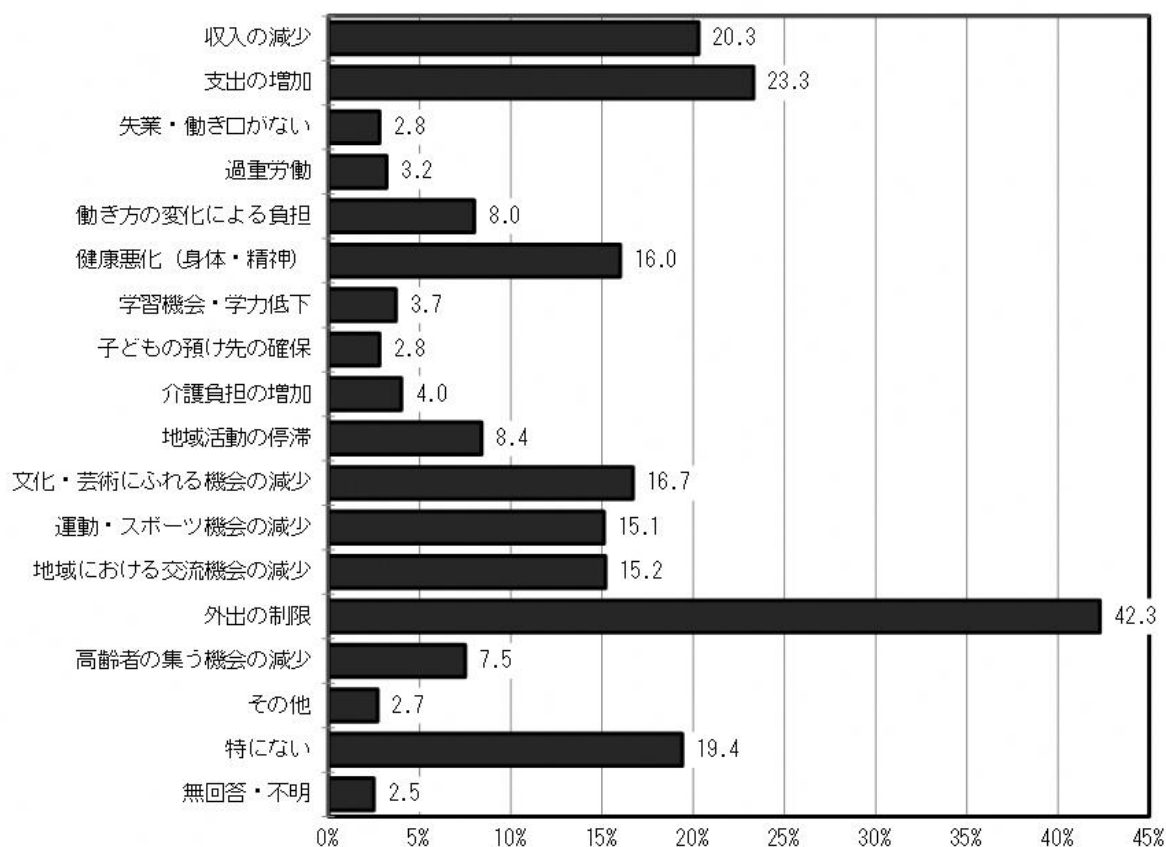
年代別にみると、「ほぼ毎日」の割合は、「30～39歳」から年代が上昇するにつれてその割合が減少しています。「ほとんど外出していない」の割合は、「70～74歳」で4.5%、「75歳以上」で10.1%となっています。また、「75歳以上」では、「週2～3回」の割合が最も高くなっています。



問9 新型コロナウイルスの感染拡大が進んでいる中、あなたが困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「外出の制限」が42.3%で最も高くなっています。次いで「支出の増加」が23.3%、「収入の減少」が20.3%で続いています。

N=1,410



【その他】(抜粋)

- ・マスク着用やワクチンなどの同調圧力。
- ・経営、経費支出。
- ・習い事の回数制限や発表会等イベント参加減。
- ・子どもを遊びにつれていく機会も減った。
- ・会社の仕事が激減。売上激減。
- ・婚活。出会いの減少。
- ・高齢者施設等の面会制限。

【地区別クロス集計】

地区別にみると、すべての地区において「外出の制限」が最も高くなっています。「潁田地区」では「健康悪化（身体・精神）」の割合が高くなっています。「庄内地区」では、他と比較して「外出の制限」の割合が高くなっています。

	全体 (N=1,410)	飯塚地区 (N=793)	穂波地区 (N=284)	筑穂地区 (N=120)	庄内地区 (N=126)	潁田地区 (N=46)
収入の減少	<u>20.3</u>	19.9	<u>21.5</u>	<u>22.5</u>	<u>23.0</u>	17.4
支出の増加	<u>23.3</u>	<u>23.6</u>	<u>24.3</u>	20.0	<u>26.2</u>	<u>26.1</u>
失業・働き口がない	2.8	2.9	2.1	3.3	2.4	4.3
過重労働	3.2	3.2	2.5	1.7	6.3	6.5
働き方の変化による負担	8.0	7.4	8.1	7.5	9.5	17.4
健康悪化（身体・精神）	16.0	16.3	17.6	8.3	16.7	<u>34.8</u>
学習機会・学力低下	3.7	3.4	5.3	3.3	4.0	2.2
子どもの預け先の確保	2.8	2.5	4.9	1.7	2.4	-
介護負担の増加	4.0	3.9	4.6	2.5	4.8	8.7
地域活動の停滞	8.4	8.4	8.8	5.8	11.1	6.5
文化・芸術にふれる機会の減少	16.7	17.4	17.3	15.0	15.1	13.0
運動・スポーツ機会の減少	15.1	15.5	17.3	11.7	18.3	4.3
地域における交流機会の減少	15.2	13.9	16.9	15.0	21.4	13.0
外出の制限	<u>42.3</u>	<u>42.0</u>	<u>44.4</u>	<u>34.2</u>	<u>54.0</u>	<u>45.7</u>
高齢者の集う機会の減少	7.5	7.3	9.2	5.8	8.7	8.7
その他	2.7	2.5	3.5	2.5	2.4	2.2
特にない	19.4	<u>20.1</u>	19.7	<u>21.7</u>	15.1	19.6
無回答・不明	2.5	1.1	0.4	1.7	0.8	4.3

※イタリックで下線のあるものは各地域の上位3位（以下、同様）

【年代別クロス集計】

どの年代でも「外出の制限」が最も高くなっています。「30～39歳」以上年代で「支出の増加」の割合が高くなっています。

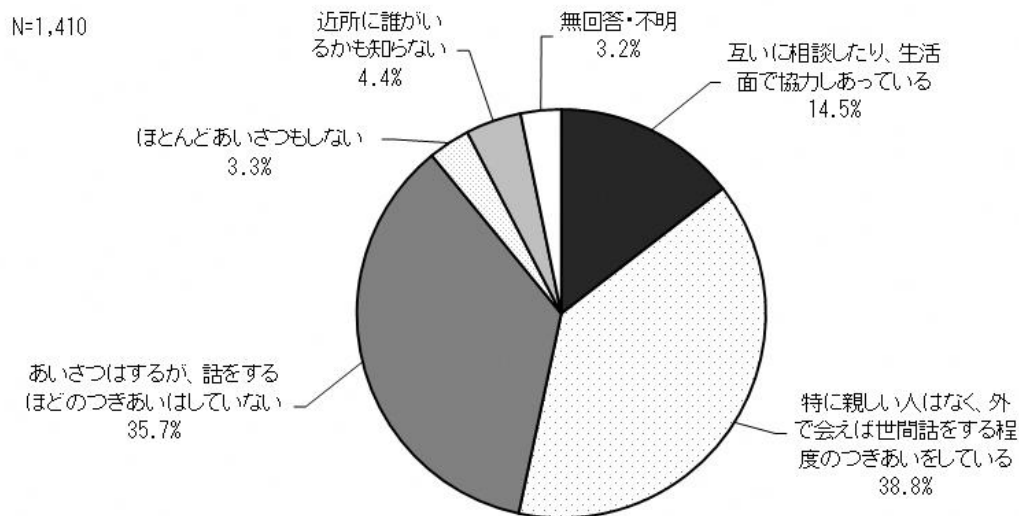
	全体 (N=1,410)	20歳未満 (N=17)	20～29 歳 (N=98)	30～39 歳 (N=118)	40～49 歳 (N=192)	50～59 歳 (N=194)	60～64 歳 (N=129)	65～69 歳 (N=135)	70～74 歳 (N=199)	75歳以上 (N=297)
収入の減少	<u>20.3</u>	23.5	<u>22.4</u>	<u>28.0</u>	<u>28.1</u>	20.6	<u>27.1</u>	<u>22.2</u>	18.6	8.4
支出の増加	<u>23.3</u>	11.8	15.3	<u>32.2</u>	<u>33.9</u>	<u>23.2</u>	<u>25.6</u>	<u>22.2</u>	<u>24.1</u>	14.8
失業・働き口がない	2.8	-	4.1	5.1	4.2	3.6	2.3	5.2	1.5	0.3
過重労働	3.2	5.9	6.1	3.4	8.3	3.1	3.1	2.2	1.0	0.3
働き方の変化による負担	8.0	5.9	13.3	12.7	14.1	11.9	8.5	5.9	4.0	1.3
健康悪化（身体・精神）	16.0	-	14.3	19.5	16.7	12.9	15.5	12.6	21.1	16.8
学習機会・学力低下	3.7	5.9	11.2	11.0	8.9	3.1	0.8	-	1.5	-
子どもの預け先の確保	2.8	-	4.1	17.8	5.7	0.5	-	-	0.5	-
介護負担の増加	4.0	-	2.0	1.7	2.1	5.7	5.4	3.7	5.0	5.1
地域活動の停滞	8.4	5.9	4.1	7.6	10.4	8.8	10.1	9.6	8.5	7.1
文化・芸術にふれる機会の減少	16.7	-	<u>25.5</u>	15.3	18.2	<u>24.2</u>	20.9	14.1	15.6	9.4
運動・スポーツ機会の減少	15.1	<u>35.3</u>	21.4	27.1	19.8	16.5	10.1	14.1	15.1	6.4
地域における交流機会の減少	15.2	11.8	10.2	16.1	16.7	12.4	12.4	15.6	16.6	17.5
外出の制限	<u>42.3</u>	<u>47.1</u>	<u>59.2</u>	<u>60.2</u>	<u>52.6</u>	<u>40.2</u>	<u>42.6</u>	<u>37.8</u>	<u>36.7</u>	<u>29.6</u>
高齢者の集う機会の減少	7.5	-	-	2.5	3.6	3.6	5.4	3.7	8.5	<u>19.5</u>
その他	2.7	-	1.0	5.9	2.1	3.6	3.1	1.5	2.0	2.7
特にない	19.4	<u>29.4</u>	10.2	11.9	12.0	15.5	14.7	<u>24.4</u>	<u>23.6</u>	<u>30.0</u>
無回答・不明	2.5	-	2.0	0.8	0.5	4.6	-	2.2	2.5	4.0

※イタリックで下線のあるものは各年代の上位3位（以下、同様）

■ 「地域」とのかかわりについて

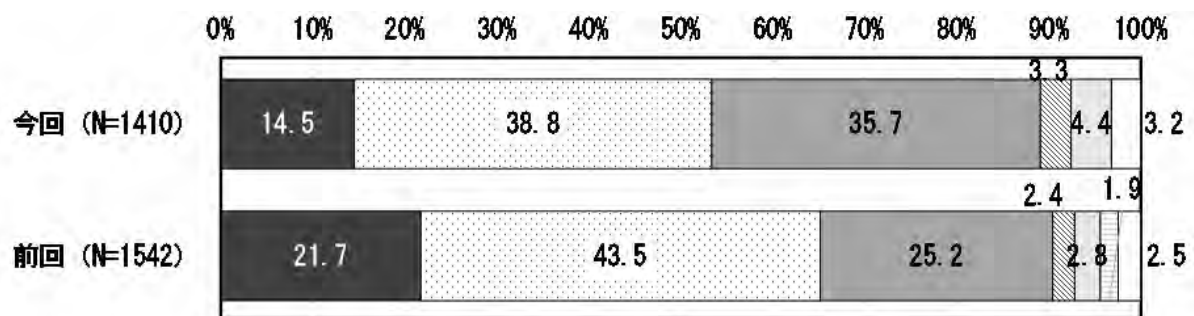
問10 あなたは、ご近所の人とどのようなつきあいをされていますか。(ひとつだけ○)

「特に親しい人はなく、外で会えば世間話をする程度のつきあいをしている」が38.8%で最も高くなっています。次いで「あいさつはするが、話をするほどのつきあいはしていない」が35.7%、「互いに相談したり、生活面で協力しあっている」が14.5%が続いています。



【前回調査との比較】

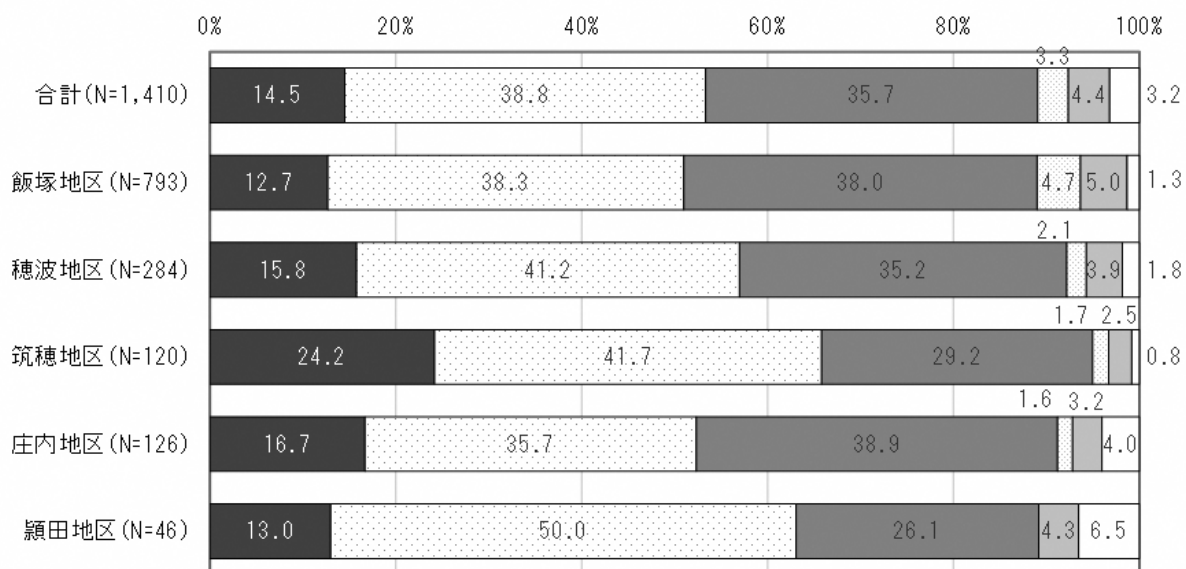
前回と比較すると、「互いに相談したり、生活面で協力しあっている」「特に親しい人はなく、外で会えば世間話をする程度のつきあいをしている」の割合が減少し、「あいさつはするが、話をするほどのつきあいはしていない」の割合が増加しています。



- 互いに相談したり、生活面で協力しあっている
- 特に親しい人はなく、外で会えば世間話をする程度のつきあいをしている
- あいさつはするが、話をするほどのつきあいはしていない
- ほとんどあいさつもしない
- 近所に誰がいるかも知らない
- その他
- 無回答・不明

【地区別クロス集計】

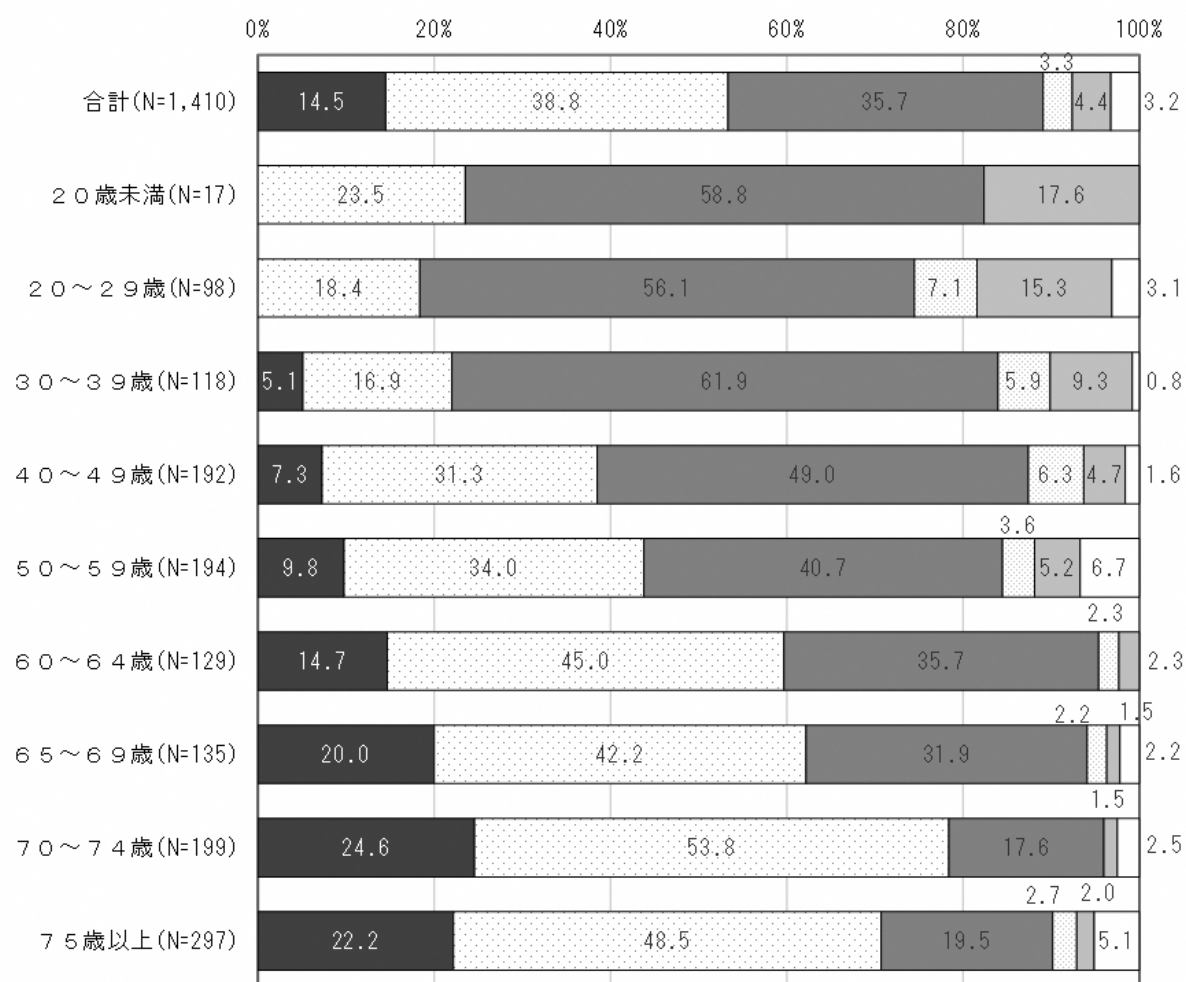
地区別にみると、「筑穂地区」で「互いに相談したり、生活面で協力しあっている」の割合が高くなっています。ある程度の住民同士の関係性が作られていると考えられる（「互いに相談したり、生活面で協力しあっている」と「特に親しい人はなく、外で会えば世間話をする程度のつきあいをしている」との合計が高い）のは、「筑穂地区」と「穎田地区」となっています。



- 互いに相談したり、生活面で協力しあっている
- 特に親しい人はなく、外で会えば世間話をする程度のつきあいをしている
- あいさつはするが、話をするほどのつきあいはしていない
- ほとんどあいさつもしない
- 近所に誰がいるかも知らない
- 無回答・不明

【年代別クロス集計】

年代別にみると、「互いに相談したり、生活面で協力しあっている」の割合は「65～69歳」以上の年代で高くなっています。「30～39歳」以下の年代では、「あいさつはするが、話をするほどのつきあいはいしていない」の割合が約6割となっています。

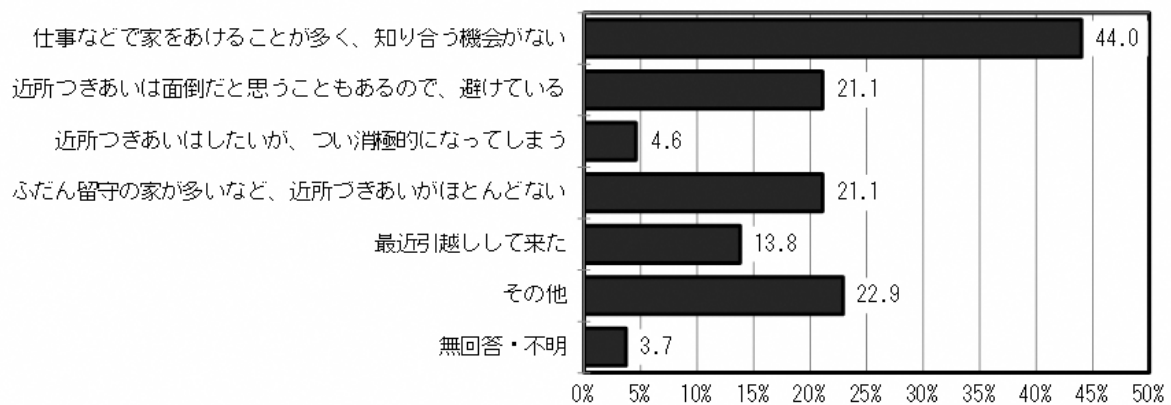


- 互いに相談したり、生活面で協力しあっている
- 特に親しい人はなく、外で会えば世間話をする程度のつきあいをしている
- あいさつはするが、話をするほどのつきあいはいしていない
- ほとんどあいさつもしない
- 近所に誰がいるかも知らない
- 無回答・不明

問10-1(問10で④か⑤) ほとんどつきあいをされていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会がない」が44.0%で最も高くなっています。次いで「近所つきあいは面倒だと思うこともあるので、避けている」、「ふだん留守の家が多いなど、近所づきあいがほとんどない」が21.1%、「最近引越して来た」が13.8%で続いています。

N=109

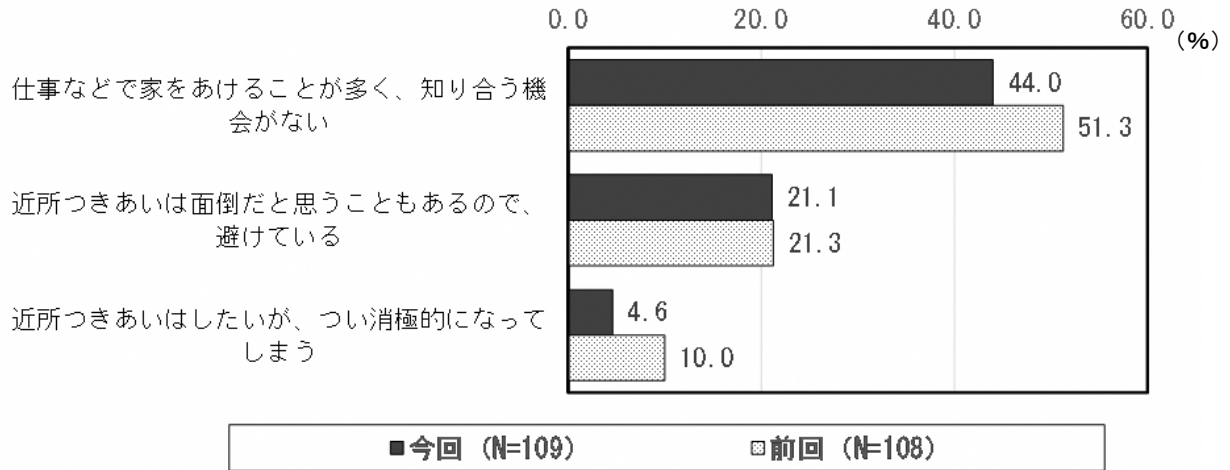


【その他】(抜粋)

- ・ 病気のため。
- ・ 施設で暮らしているため。
- ・ 特に必要を感じない。
- ・ マンションで会うことがほとんどない。
- ・ 特に近所の人と関わりたいと思わない。
- ・ 社会的に周りがそういう傾向にあると思う。
- ・ 相手が迷惑そうにする。

【前回調査との比較】

前回と比較すると、「仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会がない」が約7ポイント減少しています。



※前回調査の選択肢は、「仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会がない」「面倒だと思ふこともあるので、避けている」「近所付き合いはしたいが、つい消極的になってしまう」「近所付き合いはしたいが、仲間に入れてもらえない」「そもそも近所付き合いのほとんどないところである」「その他」となっている。

【参考】

【地域別クロス表】

	全体 (N=109)	飯塚地区 (N=77)	穂波地区 (N=17)	筑穂地区 (N=5)	庄内地区 (N=6)	穎田地区 (N=2)
仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会がない	<u>44.0</u>	<u>45.5</u>	<u>35.3</u>	<u>60.0</u>	<u>66.7</u>	-
近所つきあいは面倒だと思うこともあるので、避けている	<u>21.1</u>	20.8	<u>23.5</u>	-	<u>33.3</u>	-
近所つきあいはしたいが、つい消極的になってしまう	4.6	6.5	-	-	-	-
ふだん留守の家が多いなど、近所づきあいがほとんどない	<u>21.1</u>	<u>23.4</u>	<u>29.4</u>	-	-	-
最近引越して来た	13.8	10.4	<u>23.5</u>	-	<u>33.3</u>	-
その他	<u>22.9</u>	<u>24.7</u>	5.9	<u>20.0</u>	<u>33.3</u>	<u>100.0</u>
無回答・不明	3.7	1.3	11.8	<u>20.0</u>	-	-

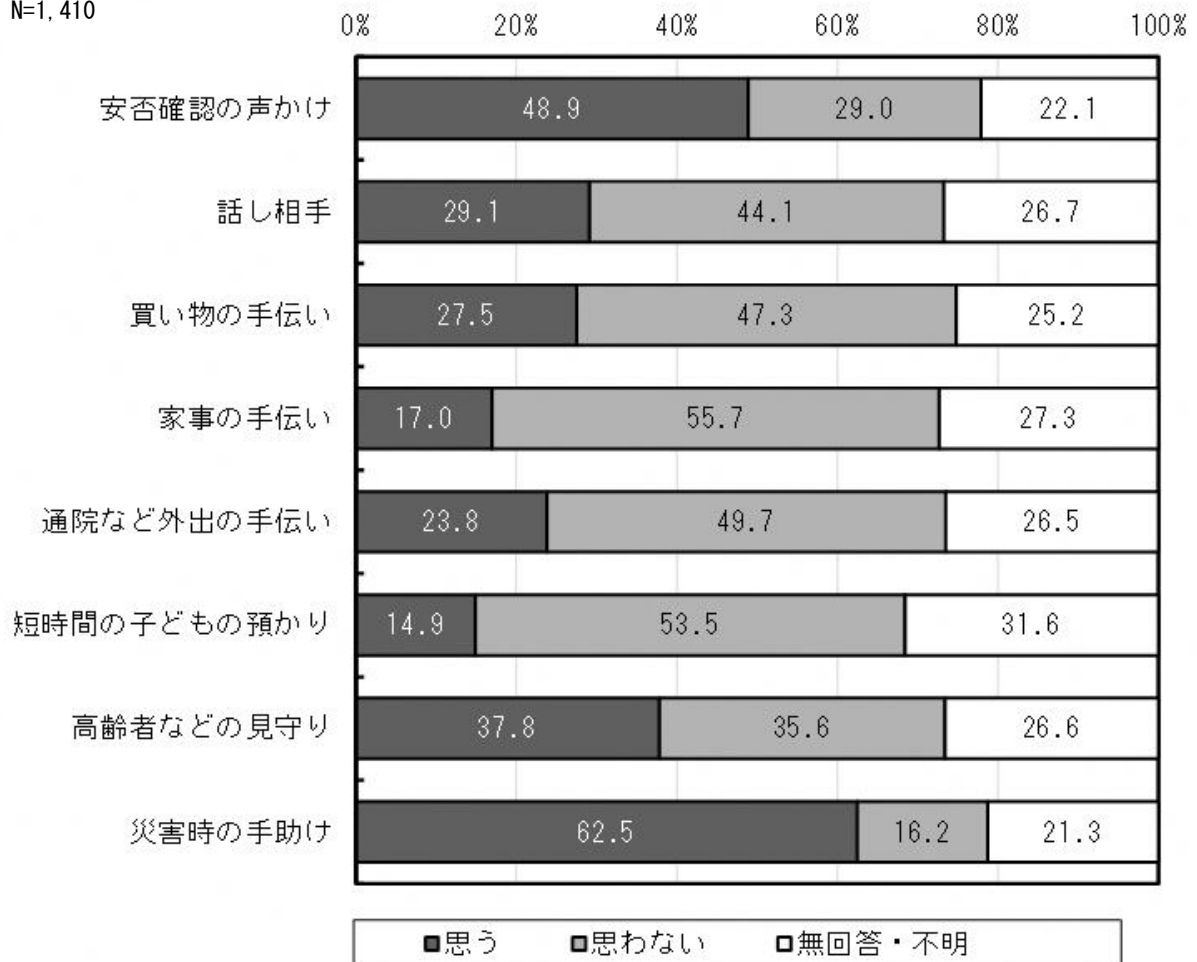
【年代別クロス表】

	全体 (N=109)	20歳未満 (N=3)	20~29歳 (N=22)	30~39歳 (N=18)	40~49歳 (N=21)	50~59歳 (N=17)	60~64歳 (N=6)	65~69歳 (N=5)	70~74歳 (N=3)	75歳以上 (N=14)
仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会がない	<u>44.0</u>	-	<u>50.0</u>	<u>55.6</u>	<u>57.1</u>	<u>58.8</u>	<u>50.0</u>	<u>20.0</u>	-	7.1
近所つきあいは面倒だと思うこともあるので、避けている	<u>21.1</u>	<u>33.3</u>	9.1	<u>50.0</u>	19.0	17.6	<u>16.7</u>	-	-	<u>21.4</u>
近所つきあいはしたいが、つい消極的になってしまう	4.6	-	9.1	11.1	-	-	<u>16.7</u>	-	-	-
ふだん留守の家が多いなど、近所づきあいがほとんどない	<u>21.1</u>	<u>33.3</u>	<u>18.2</u>	<u>22.2</u>	<u>28.6</u>	17.6	<u>16.7</u>	<u>60.0</u>	<u>33.3</u>	-
最近引越して来た	13.8	-	<u>13.6</u>	11.1	9.5	<u>23.5</u>	<u>16.7</u>	<u>20.0</u>	-	<u>14.3</u>
その他	<u>22.9</u>	<u>33.3</u>	9.1	-	<u>23.8</u>	<u>23.5</u>	<u>33.3</u>	<u>20.0</u>	<u>66.7</u>	<u>57.1</u>
無回答・不明	3.7	-	9.1	-	-	5.9	-	-	-	7.1

問 1 1 あなたやご家族が、高齢や病気、もしくは子育てなどで日常生活が不自由になったとき、地域で『手助けをしてほしい』と思うことがありますか。

「思う」の割合が高くなっているのは、「災害時の手助け」(62.5%)、「安否確認の声かけ」(48.9%)となっています。「思わない」の割合が高くなっているのは、「家事の手伝い」(55.7%)、「短時間の子どもの預かり」(53.5%)、「通院など外出の手伝い」(49.7%)となっています。

N=1,410



【地域別クロス集計】

問 11-1 の各設問において地域別に「(手助けしてほしいと) 思う」と回答した人の割合をみると、「安否確認の声かけ」において、「穎田地区」が比較的に高くなっています。また、「話し相手」においても「穎田地区」の割合が高くなっています。「通院など外出の手伝い」「高齢者などの見守り」においては「庄内地区」「穎田地区」の割合が高くなっています。

【問 11-1 で「(手助けしてほしいと) 思う」と回答した人の割合】

	合計 (N=1,410)	飯塚地区 (N=793)	穂波地区 (N=284)	筑穂地区 (N=120)	庄内地区 (N=126)	穎田地区 (N=46)
安否確認の声かけ	48.9	49.1	51.4	44.2	52.4	56.5
話し相手	29.1	27.9	34.5	25.0	31.0	43.5
買い物の手伝い	27.5	27.4	28.2	27.5	31.7	30.4
家事の手伝い	17.0	17.4	16.9	13.3	20.6	21.7
通院など外出の手伝い	23.8	23.7	24.6	20.0	30.2	30.4
短時間の子どもの預かり	14.9	14.9	15.1	15.0	17.5	17.4
高齢者などの見守り	37.8	38.0	40.1	33.3	43.7	43.5
災害時の手助け	62.5	64.7	60.9	60.8	66.7	58.7

【年代別クロス集計】

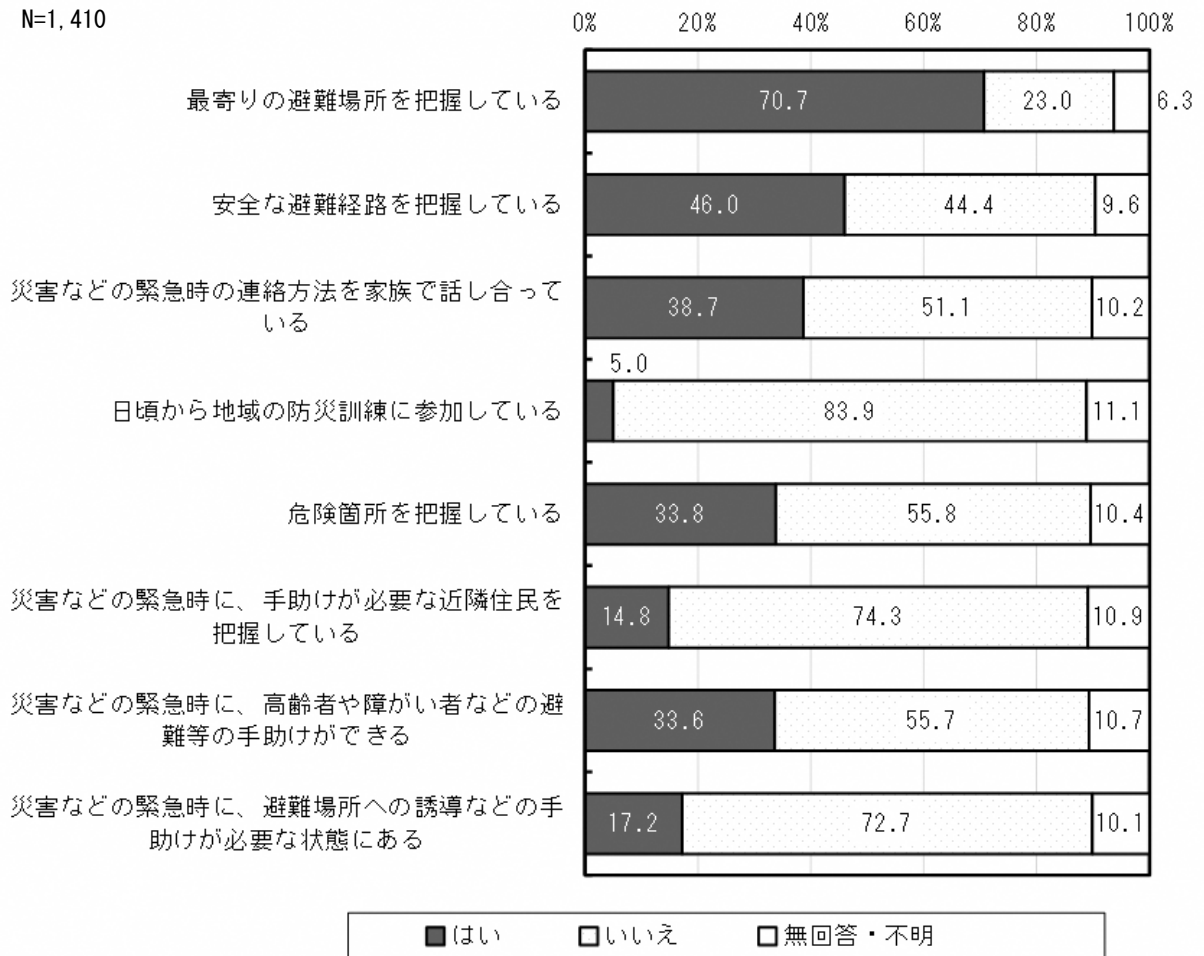
問 11-1 の各設問において年代別に「(手助けしてほしいと) 思う」と回答した人の割合をみると、多くの項目において、「40~49 歳」以下の年代で、「思う」と回答した人の割合は、全体の平均より高い割合となっています。

【問 11-1 で「(手助けしてほしいと) 思う」と回答した人の割合】

	合計 (N=1,410)	20歳未満 (N=17)	20~29歳 (N=98)	30~39歳 (N=118)	40~49歳 (N=192)	50~59歳 (N=194)	60~64歳 (N=129)	65~69歳 (N=135)	70~74歳 (N=297)	75歳以上 (N=194)
安否確認の声かけ	48.9	70.6	60.2	53.4	61.5	47.9	55.8	40.0	46.7	38.0
話し相手	29.1	47.1	42.9	32.2	38.5	26.8	27.1	26.7	27.1	21.9
買い物の手伝い	27.5	41.2	36.7	30.5	31.8	25.8	35.7	25.2	24.1	21.5
家事の手伝い	17.0	35.3	26.5	17.8	19.8	17.0	17.8	12.6	12.6	15.2
通院など外出の手伝い	23.8	41.2	27.6	22.0	26.6	24.7	27.9	20.0	19.1	22.9
短時間の子どもの預かり	14.9	35.3	32.7	33.9	23.4	13.9	9.3	11.9	8.0	4.0
高齢者などの見守り	37.8	64.7	50.0	28.8	48.4	44.8	41.1	31.1	31.7	31.0
災害時の手助け	62.5	94.1	74.5	77.1	77.6	63.9	74.4	54.8	51.3	47.8

問 1 1 今後、ご近所とのおつきあいの中で、『手助けできる』と思うことがありますか。

「思う」の割合が高くなっているのは、「安否確認の声かけ」(65.2%)、「災害時の手助け」(57.6%)、「話し相手」(44.0%) となっています。「思わない」の割合が高くなっているのは、「家事の手伝い」(55.3%)、「短時間の子どもの預かり」(49.5%)、「通院など外出の手伝い」(48.2%) となっています。



【地域別クロス集計】

問 11-1 の各設問において地域別に「(手助けできると) 思う」と回答した人の割合をみると、「安否確認の声かけ」では、「庄内地区」が比較的に高く、逆に「穎田地区」が低くなっています。「家事の手伝い」では、「筑穂地区」「穎田地区」が高くなっています。「通院など外出の手伝い」では、「筑穂地区」が高くなっています。「災害の手助け」では、「穎田地区」が低くなっています。

【問 11-1 で「(手助けできると) 思う」と回答した人の割合】

	合計 (N=1,410)	飯塚地区 (N=793)	穂波地区 (N=284)	筑穂地区 (N=120)	庄内地区 (N=126)	穎田地区 (N=46)
安否確認の声かけ	65.2	66.3	67.3	65.0	71.4	52.2
話し相手	44.0	44.4	46.8	45.0	45.2	41.3
買い物の手伝い	33.8	33.7	38.0	36.7	33.3	26.1
家事の手伝い	15.6	15.0	15.5	22.5	15.1	21.7
通院など外出の手伝い	23.9	22.6	28.5	30.8	22.2	21.7
短時間の子どもの預かり	21.3	20.8	23.9	24.2	18.3	23.9
高齢者などの見守り	41.0	41.1	43.7	44.2	42.9	37.0
災害時の手助け	57.6	59.5	58.1	55.8	61.1	43.5

【年代別クロス集計】

「75 歳」で低くなっています。なお、「75 歳」においては、どの項目でも全体の平均より大きく下回っています。

「買い物の手伝い」では、「20~29 歳」で高くなっています。「通院など外出の手伝い」では、「20~29 歳」「60~64 歳」で高くなっています。「短時間の子どもの預かり」では、「40~49 歳」以下の年代で高くなっています。「高齢者などの見守り」では、「20~29 歳」「40~49 歳」で高くなっています。「災害時の手助け」では「60~64 歳」以下の年代で高くなっています。

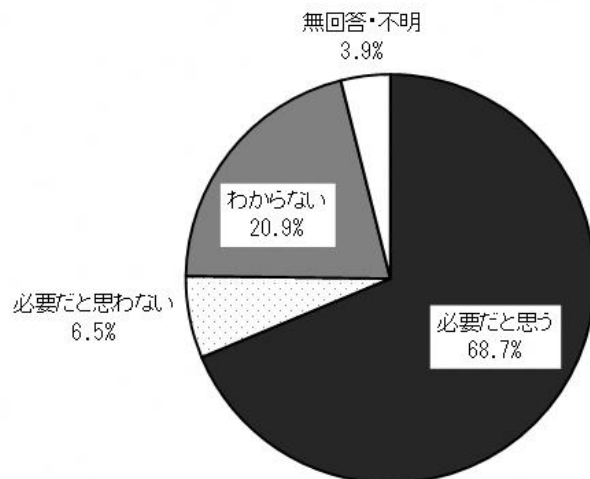
【問 11-1 で「(手助けできると) 思う」と回答した人の割合】

	合計 (N=1,410)	20歳未満 (N=17)	20~29歳 (N=98)	30~39歳 (N=118)	40~49歳 (N=192)	50~59歳 (N=194)	60~64歳 (N=129)	65~69歳 (N=135)	70~74歳 (N=297)	75歳以上 (N=194)
安否確認の声かけ	65.2	82.4	76.5	76.3	78.1	71.1	76.7	69.6	61.8	40.7
話し相手	44.0	70.6	54.1	50.0	55.2	42.8	46.5	45.2	41.7	32.0
買い物の手伝い	33.8	58.8	51.0	41.5	41.7	37.6	48.1	43.0	26.6	11.8
家事の手伝い	15.6	41.2	21.4	14.4	19.8	17.5	20.9	17.8	14.1	7.4
通院など外出の手伝い	23.9	47.1	34.7	22.0	26.6	25.8	37.2	31.9	18.6	11.4
短時間の子どもの預かり	21.3	52.9	36.7	31.4	31.3	21.1	24.8	23.7	13.6	7.1
高齢者などの見守り	41.0	58.8	57.1	38.1	51.0	50.5	48.1	48.9	39.2	18.2
災害時の手助け	57.6	100.0	77.6	81.4	75.5	68.0	72.9	56.3	47.7	24.2

問 1 2 あなたは、地域の助け合いが必要だと思いますか。(ひとつだけ○)

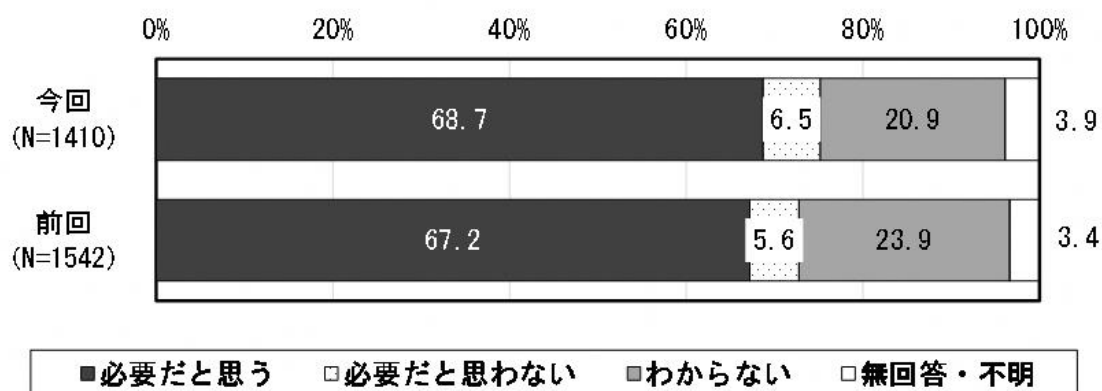
「必要だと思う」が 68.7%を占めています。「わからない」が 20.9%、「必要だと思わない」が 6.5%で続いています。

N=1,410



【前回調査との比較】

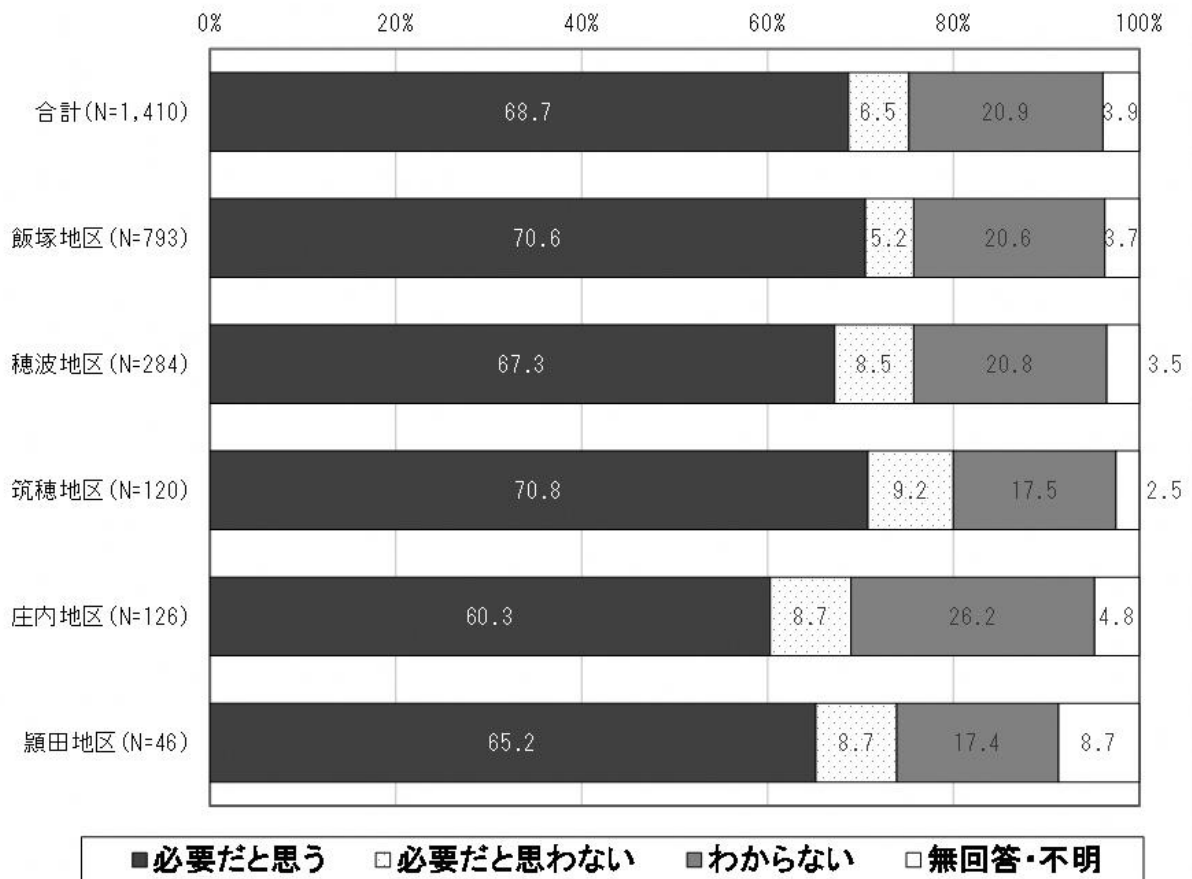
前回と比較すると、大きな違いは見られません。



※前回の質問文は「あなたは、地域の福祉課題に対し、住民相互の自主的な協力関係が必要だと思いますか。」

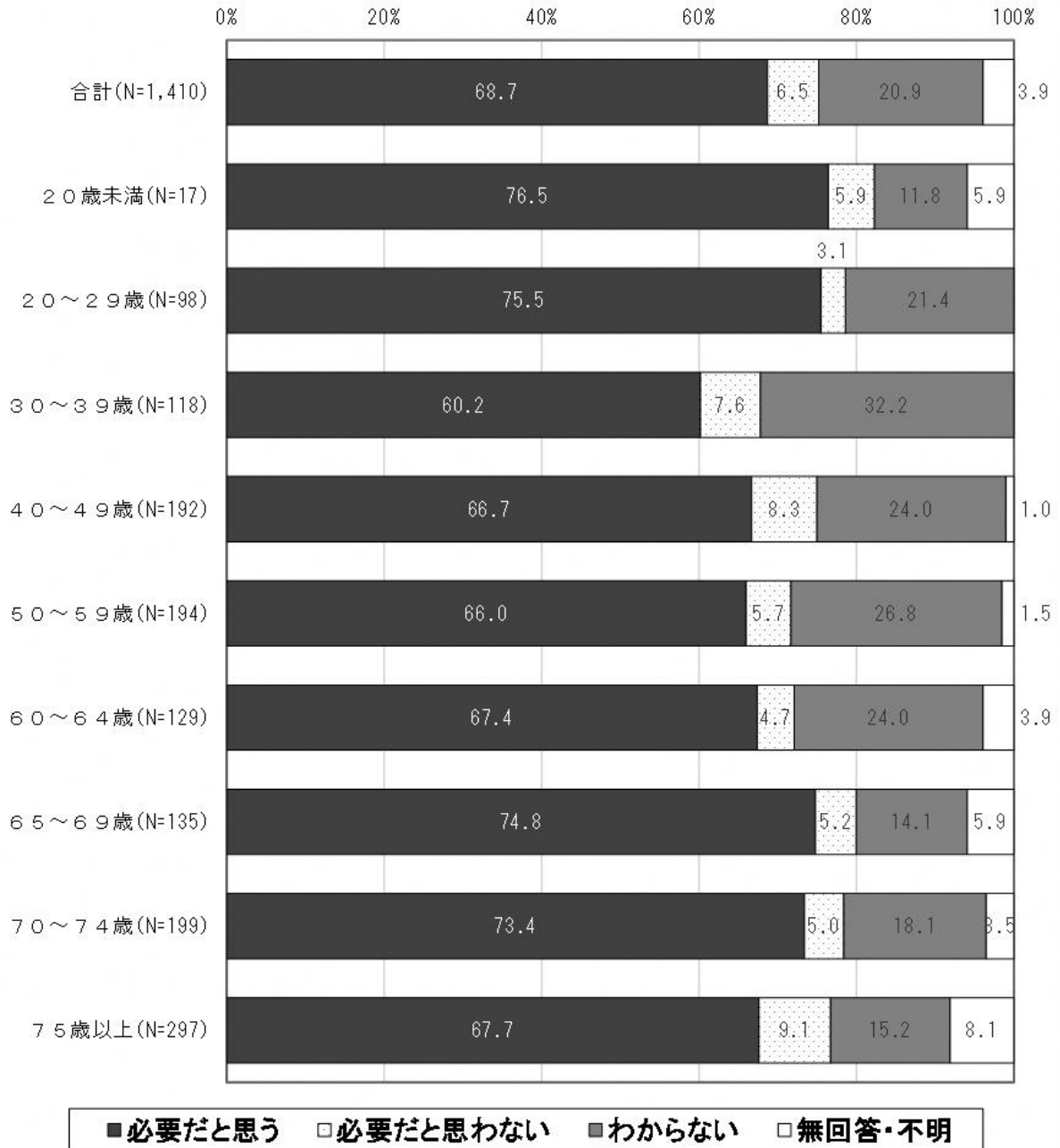
【地区別クロス集計】

地区別にみると、「庄内地区」は他と比較して「必要だと思う」の割合が若干低くなっています。



【年代別クロス集計】

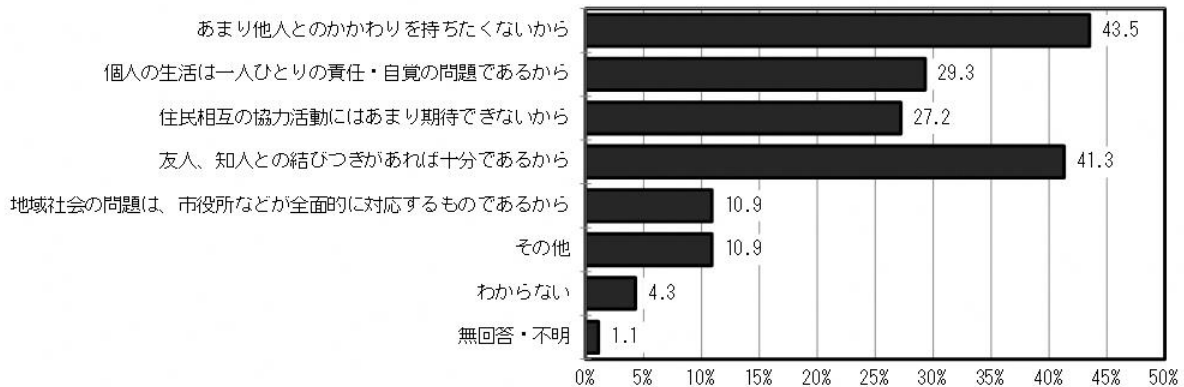
年代別にみると、「必要だと思う」の割合は、全体的に約6～7割となっています。「30～39歳」は他の年代と比較して若干低くなっています。



問 1 2 - 1 (問12で「必要だと思わない」と回答した人) 地域の助け合いは必要ない
 と思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「あまり他人とのかかわりを持ちたくないから」が43.5%で最も高くなっています。次いで「友人、知人との結びつきがあれば十分であるから」が41.3%、「個人の生活は一人ひとりの責任・自覚の問題であるから」が29.3%で続いています。

N=92

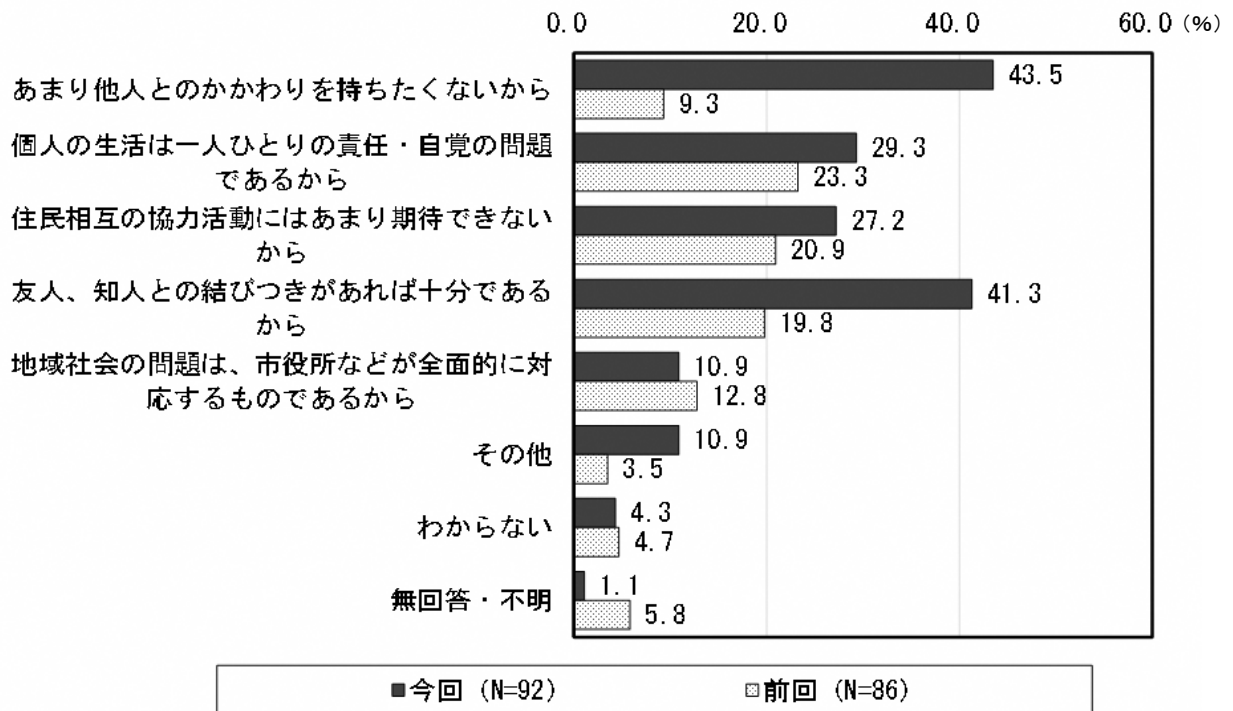


【その他】(抜粋)

- ・ 必要と強制されるものではない。
- ・ サービスとして利用できればよいが、義務的になると協力は難しい。親しい近所の方なら協力したいと思えるが、近所だからとよく知らない人の協力は難しい。
- ・ 地域の助けが必要と感じたことがない。
- ・ 定年延長になり高齢者も働いている人が多い中、地域の助け合いは難しくなっていると思う。必要だとか必要ではないとかという問題ではないと思う。
- ・ 災害時などの助け合いは必要と思うが、それ以外はあまり思わない。
- ・ 原則、家族、親戚などが対応すべきだ。
- ・ 迷惑をかけたくない。
- ・ 古い地域の昔ながらの畏まった風習が重い。

【前回調査との比較】

前回と比較すると、「あまり他人とのかかわりを持ちたくないから」「友人、知人との結びつきがあれば十分であるから」が大きく増加しています。



※前回の質問文は「住民相互の協力関係は必要ないと思う理由は何ですか。」

【参考】

【地域別クロス表】

	合計 (N=92)	飯塚地区 (N=41)	穂波地区 (N=24)	筑穂地区 (N=11)	庄内地区 (N=11)	穎田地区 (N=4)
あまり他人とのかかわりを持ちたくないから	43.5	26.8	58.3	54.5	63.6	25.0
個人の生活は一人ひとりの責任・自覚の問題であるから	29.3	39.0	20.8	18.2	27.3	25.0
住民相互の協力活動にはあまり期待できないから	27.2	31.7	25.0	18.2	18.2	50.0
友人、知人との結びつきがあれば十分であるから	41.3	41.5	41.7	36.4	45.5	25.0
地域社会の問題は、市役所などが全面的に対応するものであるから	10.9	7.3	12.5	27.3	-	-
その他	10.9	7.3	20.8	-	18.2	-
わからない	4.3	4.9	4.2	-	-	25.0
無回答・不明	1.1	-	-	9.1	-	-

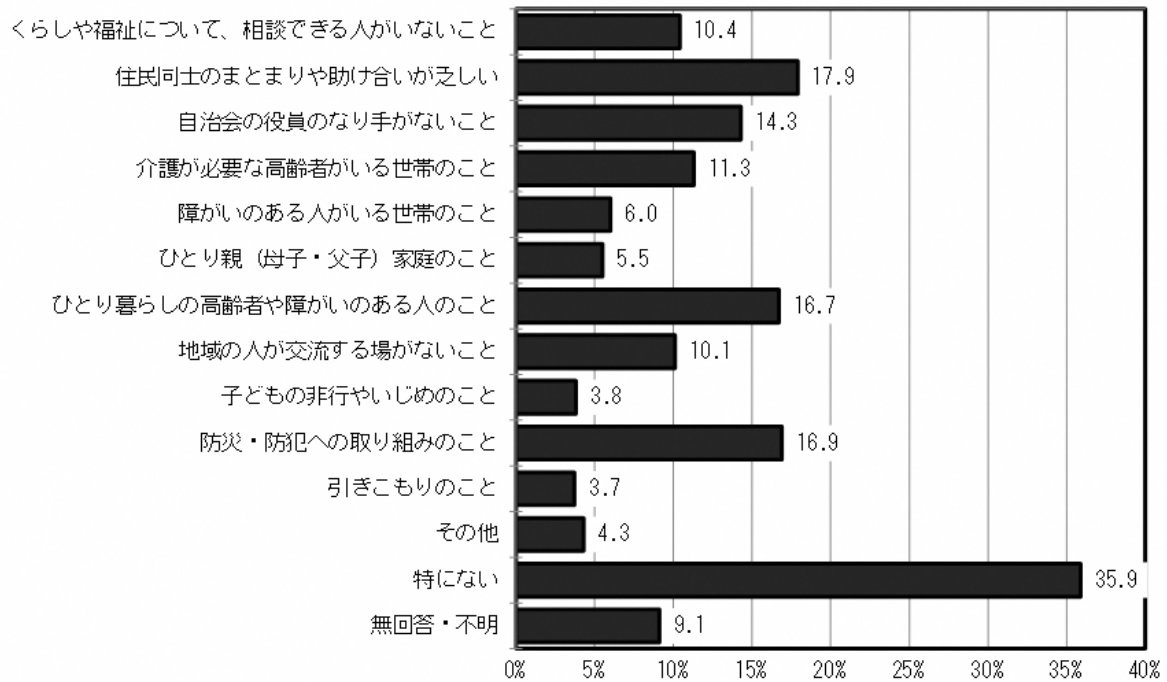
【年代別クロス表】

	全体 (N=92)	20歳未満 (N=1)	20～29歳 (N=3)	30～39歳 (N=9)	40～49歳 (N=16)	50～59歳 (N=11)	60～64歳 (N=6)	65～69歳 (N=7)	70～74歳 (N=10)	75歳以上 (N=27)
あまり他人とのかかわりを持ちたくないから	43.5	-	66.7	55.6	62.5	36.4	66.7	28.6	30.0	37.0
個人の生活は一人ひとりの責任・自覚の問題であるから	29.3	-	33.3	22.2	25.0	27.3	33.3	14.3	40.0	33.3
住民相互の協力活動にはあまり期待できないから	27.2	100.0	33.3	44.4	37.5	27.3	16.7	42.9	20.0	14.8
友人、知人との結びつきがあれば十分であるから	41.3	100.0	100.0	55.6	25.0	45.5	50.0	14.3	30.0	40.7
地域社会の問題は、市役所などが全面的に対応するものであるから	10.9	-	-	11.1	12.5	9.1	-	-	30.0	11.1
その他	10.9	-	-	22.2	6.3	18.2	33.3	14.3	10.0	3.7
わからない	4.3	-	-	-	-	9.1	-	14.3	10.0	3.7
無回答・不明	1.1	-	-	-	-	-	-	-	-	3.7

問 1 3 あなたが住んでいる地域のことで困っていることや課題だと感じている問題はありますか。(あてはまるものすべてに○)

「特にない」が 35.9%で最も高くなっています。次いで「住民同士のまとまりや助け合いが乏しい」が 17.9%、「防災・防犯への取り組みのこと」が 16.9%で続いています。

N=1,410

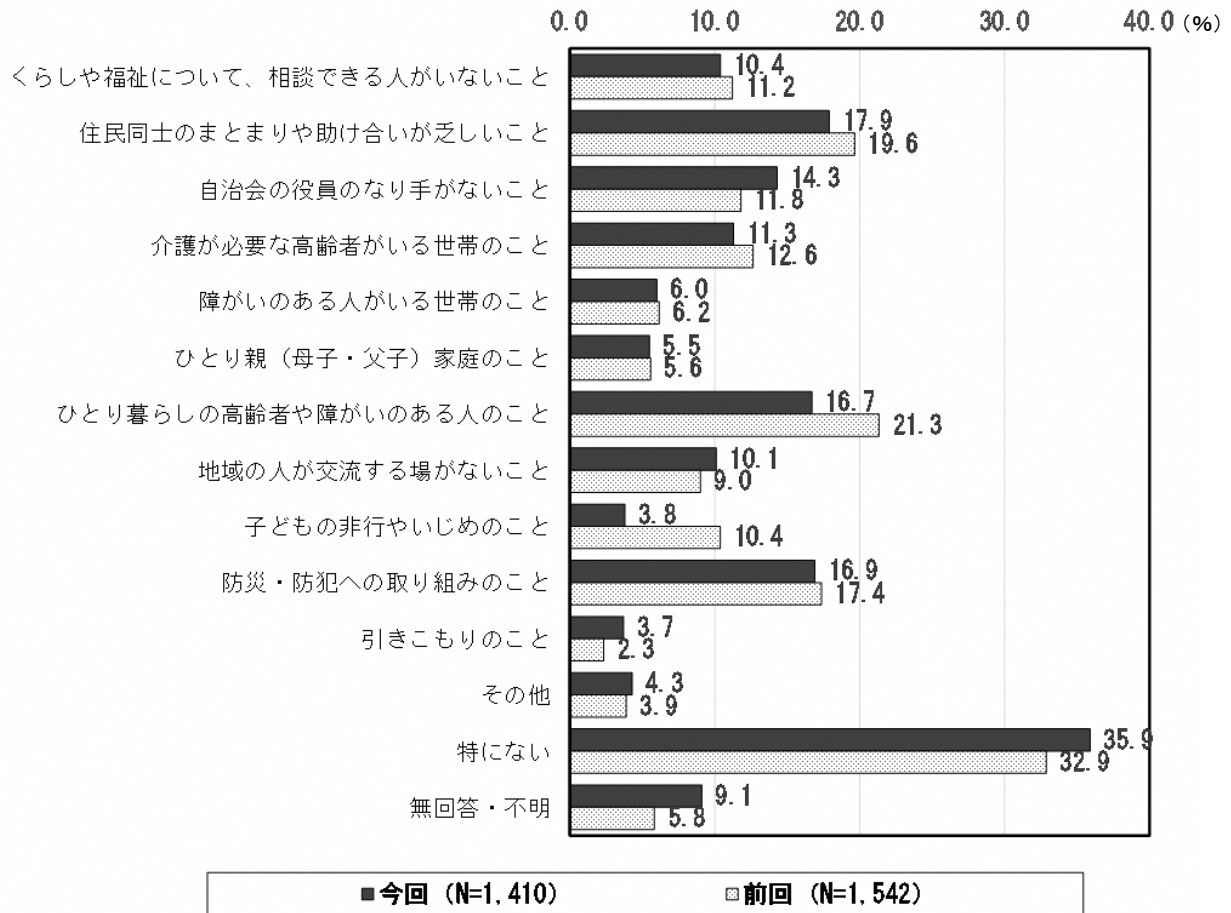


【その他】(抜粋)

- ・ 交通 (電車の本数、バスがない不便な問題、仕事が見つからない、買い物不便)。
- ・ 公共交通機関がない。
- ・ 野良猫に餌をやっている者がおり、猫の糞に困っている。ペットの糞の処理。
- ・ 子どもの遊ぶところが近くにない (公園など)。
- ・ 空き家問題。
- ・ 高齢者が多いため、隣組長になる人がいない。また、隣組に入っているが、飯塚に住んでいない家庭 (空き家だけど加入している) もあり組費の回収に大変。
- ・ 若い人が自治会に入らない。
- ・ ゴミ出しのマナー。
- ・ どこにどう相談すればいいかがわかりにくいこと。
- ・ 害獣駆除。

【前回調査との比較】

前回と比較すると、「ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人のこと」の割合が若干減少しています。



※前回の質問文は「あなたが住んでいる地域のことで「何とかしなければならない」と感じている問題がありますか。」

【地区別クロス集計】

地区別にみると、すべての地区において「特にない」が最も高くなっています。

「飯塚地区」では、「防災・防犯への取り組みのこと」「住民同士のまとまりや助け合いが乏しい」の割合が高くなっています。

「穂波地区」では、「住民同士のまとまりや助け合いが乏しい」「ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人のこと」の割合が高くなっています。

「筑穂地区」では、「自治会の役員のみなり手がなくないこと」「ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人のこと」が高くなっています。

「庄内地区」では、「住民同士のまとまりや助け合いが乏しい」「自治会の役員のみなり手がなくないこと」が高くなっています。

「穎田地区」では、「自治会の役員のみなり手がなくないこと」が高くなっています。

	合計 (N=1,410)	飯塚地区 (N=793)	穂波地区 (N=284)	筑穂地区 (N=120)	庄内地区 (N=126)	穎田地区 (N=46)
くらしや福祉について、相談できる人がいないこと	10.4	10.7	10.6	10.0	7.1	10.9
住民同士のまとまりや助け合いが乏しい	<u>17.9</u>	<u>17.7</u>	<u>18.0</u>	16.7	<u>23.8</u>	13.0
自治会の役員のみなり手がなくないこと	14.3	12.9	12.7	<u>20.0</u>	<u>23.0</u>	<u>17.4</u>
介護が必要な高齢者がいる世帯のこと	11.3	11.3	11.3	10.0	12.7	8.7
障がいのある人がいる世帯のこと	6.0	6.7	5.6	5.0	3.2	10.9
ひとり親（母子・父子）家庭のこと	5.5	5.4	7.0	2.5	4.8	6.5
ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人のこと	16.7	16.6	<u>18.0</u>	<u>19.2</u>	14.3	10.9
地域の人が交流する場がないこと	10.1	11.0	10.2	5.0	7.9	10.9
子どもの非行やいじめのこと	3.8	4.2	2.8	5.8	4.0	-
防災・防犯への取り組みのこと	<u>16.9</u>	<u>18.2</u>	17.3	13.3	17.5	8.7
引きこもりのこと	3.7	4.2	3.2	4.2	2.4	2.2
その他	4.3	4.5	4.6	4.2	4.0	-
特にない	<u>35.9</u>	<u>38.6</u>	<u>33.8</u>	<u>25.0</u>	<u>31.0</u>	<u>32.6</u>
無回答・不明	9.1	7.3	10.6	10.8	11.1	<u>17.4</u>

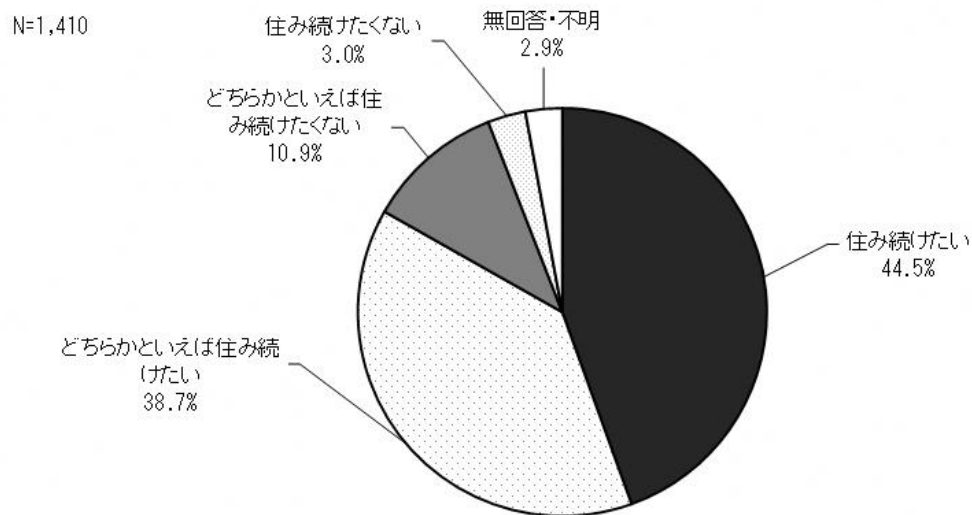
【年代別クロス集計】

年代別にみると、すべての年代で「特にない」が最も高くなっています。また、「住民同士のまとまりや助け合いが乏しい」については、多くの年代で課題と感じている人の割合が比較的が高くなっています。「60～64歳」から「70～74歳」の年代で、「自治会の役員のなり手がなく」の割合が高くなっています。また、「30～39歳」では、「防災・防犯への取り組みのこと」の割合が高くなっています。

	全体 (N=1410)	20歳未満 (N=17)	20～29歳 (N=98)	30～39歳 (N=118)	40～49歳 (N=192)	50～59歳 (N=194)	60～64歳 (N=129)	65～69歳 (N=135)	70～74歳 (N=199)	75歳以上 (N=297)
くらしや福祉について、相談できる人がいないこと	10.4	-	10.2	9.3	15.6	10.8	12.4	7.4	7.0	9.8
住民同士のまとまりや助け合いが乏しい	<u>17.9</u>	5.9	<u>14.3</u>	14.4	<u>20.8</u>	<u>19.1</u>	<u>20.9</u>	<u>22.2</u>	<u>16.6</u>	<u>14.8</u>
自治会の役員のなり手がなく	14.3	-	11.2	6.8	15.6	16.0	<u>22.5</u>	<u>15.6</u>	<u>19.6</u>	9.1
介護が必要な高齢者がいる世帯のこと	11.3	5.9	<u>15.3</u>	11.9	15.6	12.9	7.8	7.4	8.5	11.4
障がいのある人がいる世帯のこと	6.0	5.9	6.1	9.3	8.9	5.7	6.2	3.7	5.5	4.0
ひとり親（母子・父子）家庭のこと	5.5	-	10.2	4.2	8.3	6.2	2.3	5.9	5.0	4.4
ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人のこと	16.7	-	<u>14.3</u>	<u>16.1</u>	20.3	<u>21.1</u>	17.8	14.8	16.1	13.8
地域の人が交流する場がないこと	10.1	5.9	10.2	9.3	12.0	7.2	17.1	12.6	9.0	8.1
子どもの非行やいじめのこと	3.8	<u>11.8</u>	5.1	10.2	9.9	2.1	2.3	2.2	1.5	0.3
防災・防犯への取り組みのこと	<u>16.9</u>	5.9	12.2	<u>28.0</u>	<u>21.4</u>	17.5	20.2	13.3	13.1	14.1
引きこもりのこと	3.7	5.9	3.1	2.5	7.8	3.1	2.3	5.2	4.0	1.7
その他	4.3	5.9	4.1	5.1	5.2	5.7	7.0	2.2	5.0	2.0
特にない	<u>35.9</u>	<u>58.8</u>	<u>44.9</u>	<u>37.3</u>	<u>34.4</u>	<u>35.6</u>	<u>24.8</u>	<u>34.8</u>	<u>38.2</u>	<u>37.4</u>
無回答・不明	9.1	<u>17.6</u>	4.1	4.2	4.7	5.7	7.0	8.1	10.1	<u>16.8</u>

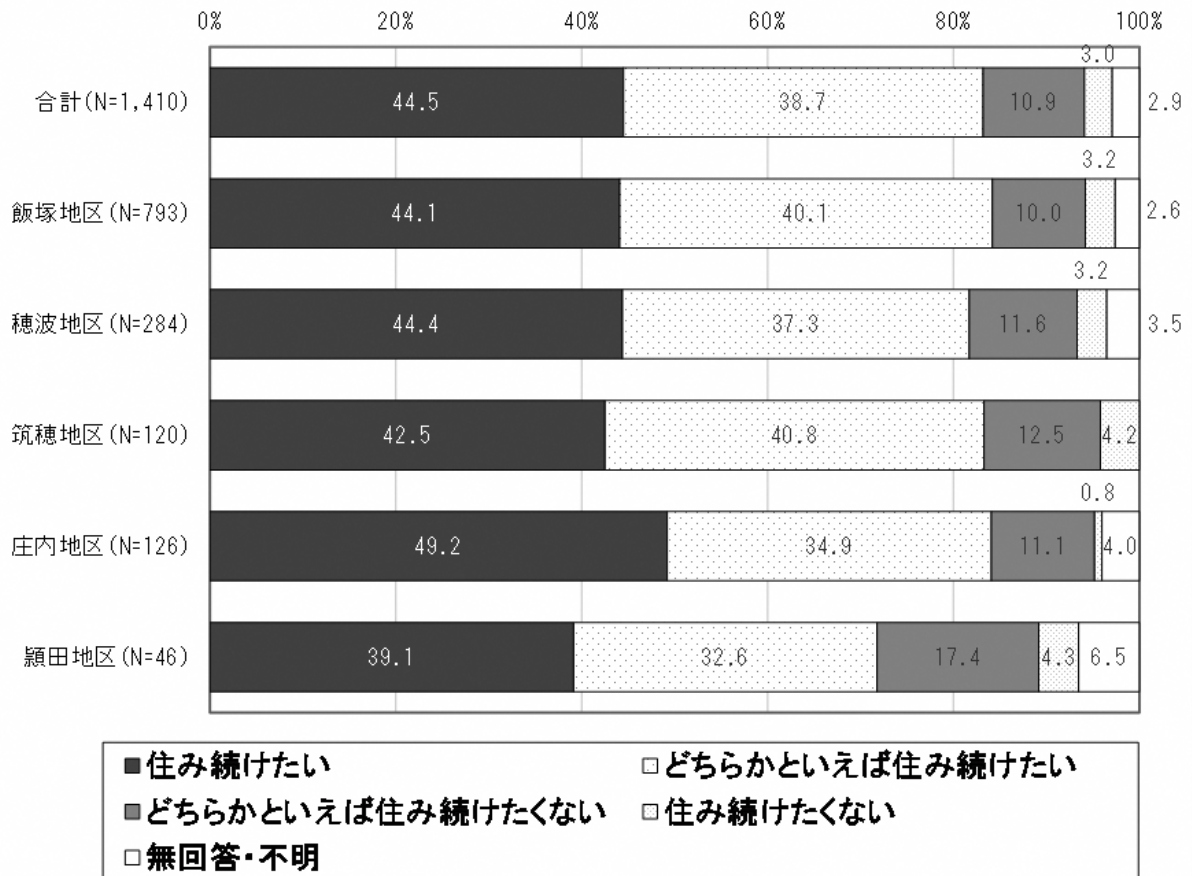
問14 あなたは、これからも現在住んでいる地域に住み続けたいと思いますか。(ひとつだけ○)

「住み続けたい」が44.5%で最も高くなっています。次いで「どちらかといえば住み続けたい」が38.7%、「どちらかといえば住み続けたくない」が10.9%が続いています。



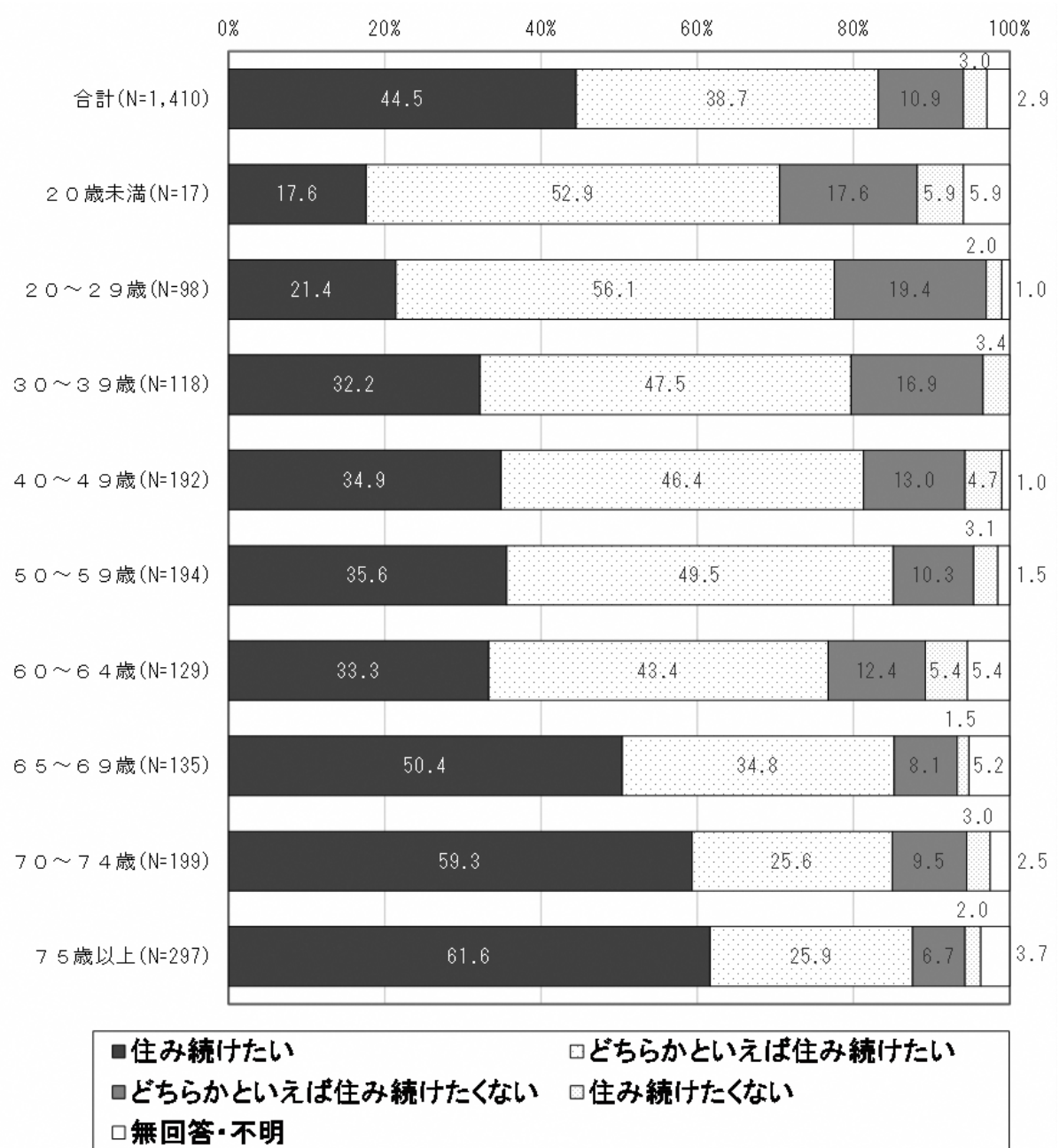
【地区別クロス集計】

地区別にみると、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合計した割合は、「颯田地区」以外の地区では約8割となっています。「颯田地区」は他の地区と比較して、低くなっています。



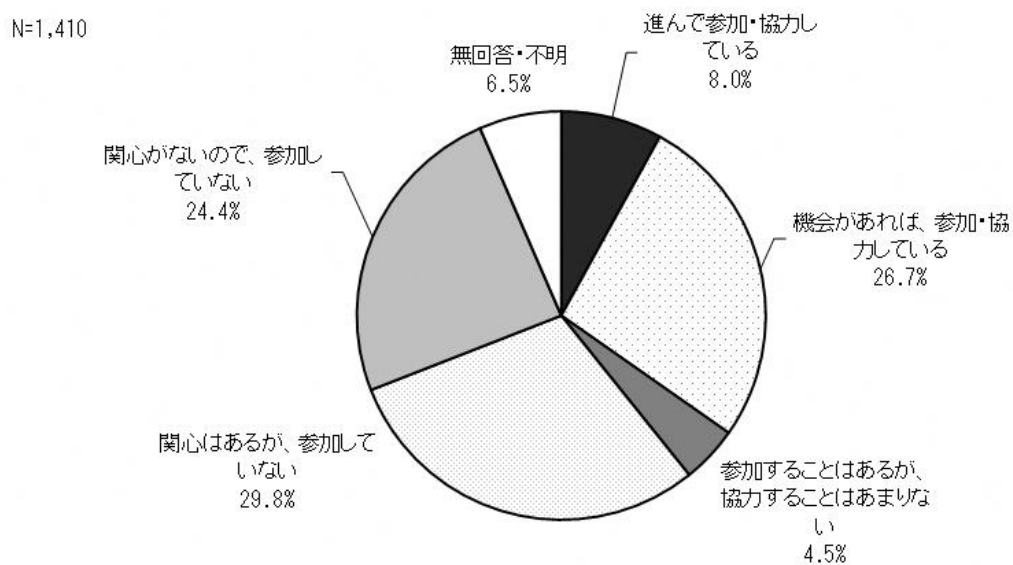
【年代別クロス集計】

年代別にみると、「住み続けたい」と「どちらかえ言えば住み続けたい」を合計した割合は、全体的に7～8割となっています。



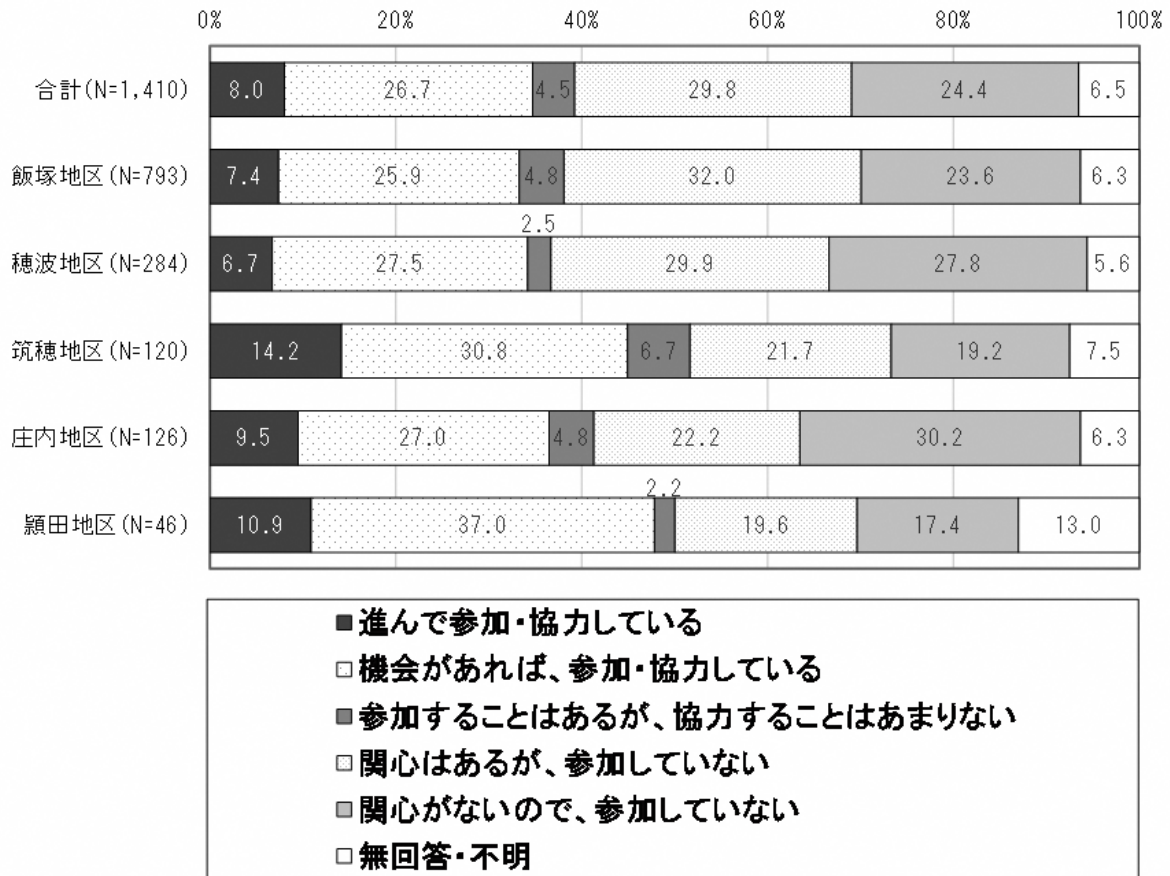
問15 あなたは、自治会活動等の地域活動(【問15-1】の項目に該当する活動)や地域の行事へ参加されていますか。(ひとつだけ○)

「関心はあるが、参加していない」が29.8%で最も高くなっています。次いで「機会があれば、参加・協力している」が26.7%、「関心がないので、参加していない」が24.4%が続いています。



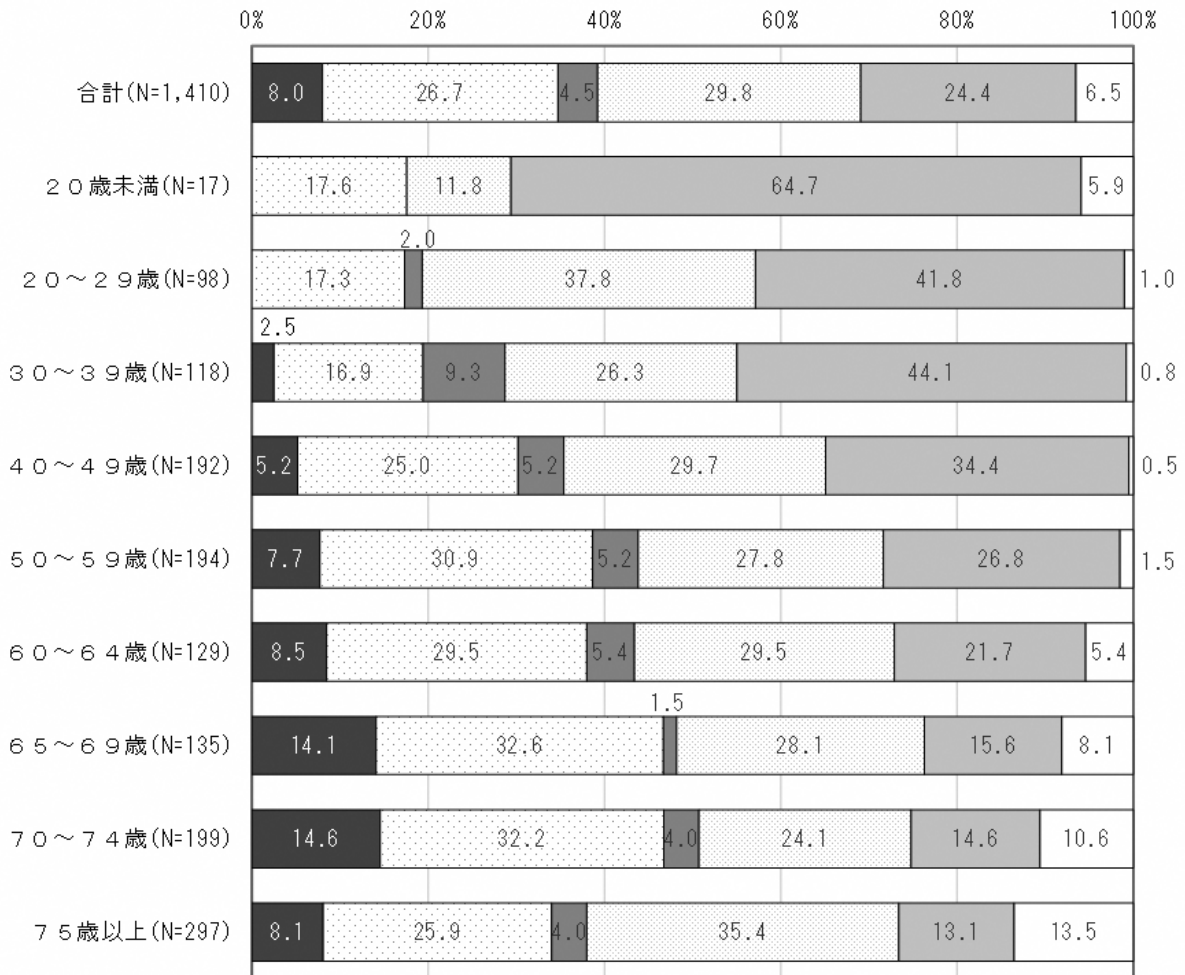
【地区別クロス集計】

地区別にみると、「進んで参加・協力している」と「機会があれば、参加・協力している」を合計した割合は、「穎田地区」「筑穂地区」で比較的高くなっています。



【年代別クロス集計】

年代別にみると、「進んで参加・協力している」と「機会があれば、参加・協力している」を合計した割合は、「30～39歳」までの年代では約2割、「40～49歳」から「60～64歳」までの年代、そして「75歳以上」では3～4割、「65～69歳」「70～74歳」では約5割となっています。

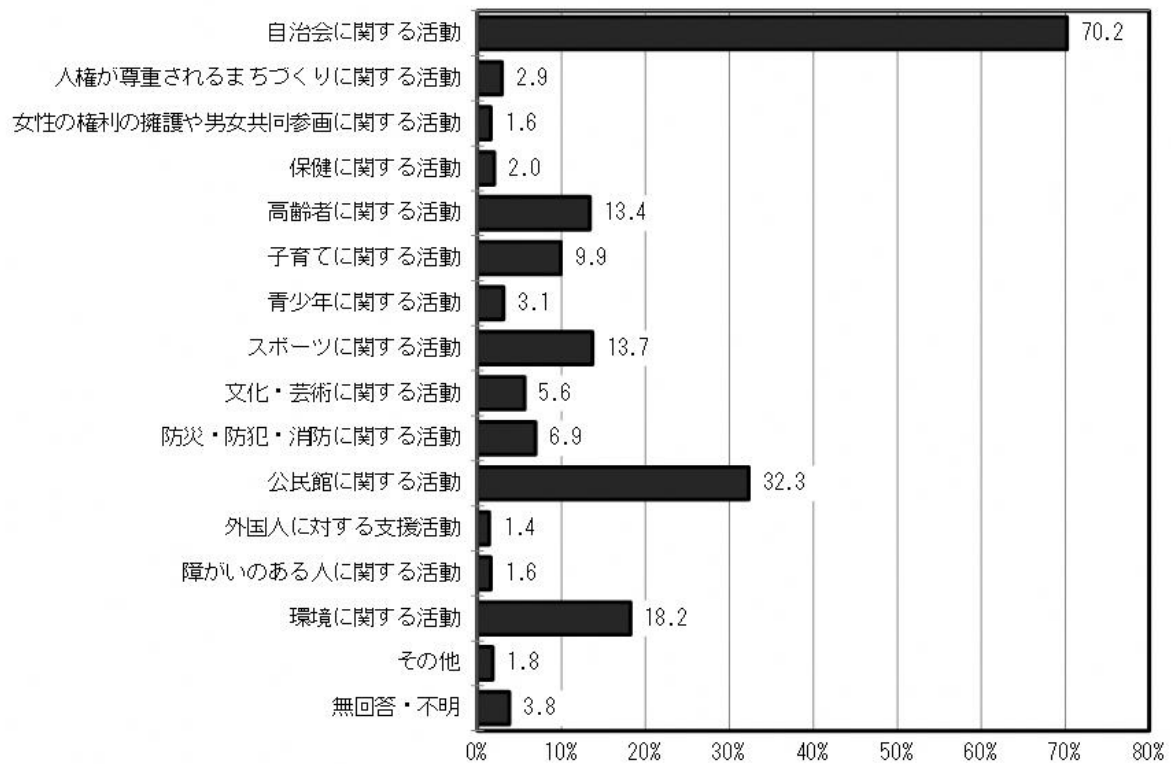


- 進んで参加・協力している
- 機会があれば、参加・協力している
- 参加することはあるが、協力することはない
- 関心はあるが、参加していない
- 関心がないので、参加していない
- 無回答・不明

問15-1 (問15で①～③) それはどのような活動ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自治会に関する活動」が70.2%で突出しています。

N=554



【その他】(抜粋)

- ・ 子ども山笠。
- ・ 団地内の草取り等。
- ・ 商工会活動。

【地区別クロス集計】

地区別にみると、すべての地区において「自治会に関する活動」が最も高くなっています。「穂波地区」「穎田地区」で「公民館に関する活動」の割合が比較的の高くなっています。また、「筑穂地区」「庄内地区」で「環境に関する活動」の割合が比較的の高くなっています・

	合計 (N=554)	飯塚地区 (N=302)	穂波地区 (N=104)	筑穂地区 (N=62)	庄内地区 (N=52)	穎田地区 (N=23)
自治会に関する活動	<u>70.2</u>	<u>72.2</u>	<u>63.5</u>	<u>71.0</u>	<u>73.1</u>	<u>73.9</u>
人権が尊重されるまちづくりに関する活動	2.9	2.6	3.8	6.5	-	-
女性の権利の擁護や男女共同参画に関する活動	1.6	1.0	3.8	3.2	-	-
保健に関する活動	2.0	3.0	1.9	-	-	-
高齢者に関する活動	13.4	11.9	18.3	11.3	15.4	13.0
子育てに関する活動	9.9	10.6	9.6	8.1	9.6	-
青少年に関する活動	3.1	4.6	2.9	-	-	-
スポーツに関する活動	13.7	<u>14.9</u>	9.6	14.5	17.3	4.3
文化・芸術に関する活動	5.6	7.0	5.8	4.8	1.9	-
防災・防犯・消防に関する活動	6.9	7.0	8.7	8.1	3.8	-
公民館に関する活動	<u>32.3</u>	<u>29.8</u>	<u>40.4</u>	<u>32.3</u>	<u>26.9</u>	<u>47.8</u>
外国人に対する支援活動	1.4	2.0	1.9	-	-	-
障がいのある人に関する活動	1.6	2.0	1.0	-	-	4.3
環境に関する活動	<u>18.2</u>	14.6	<u>21.2</u>	<u>27.4</u>	<u>25.0</u>	<u>21.7</u>
その他	1.8	1.3	2.9	1.6	1.9	-
無回答・不明	3.8	4.0	2.9	1.6	5.8	-

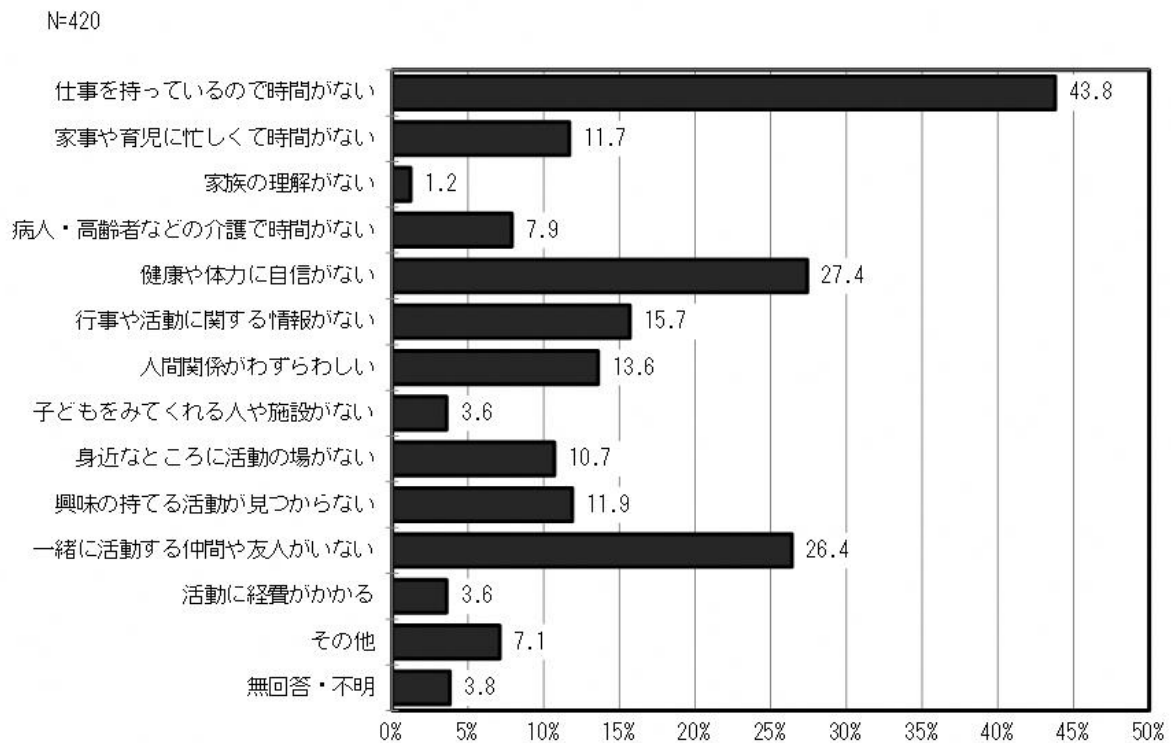
【年代別クロス集計】

年代別にみると、すべての年代において「自治会に関する活動」の割合が高くなっています。「公民館に関する活動」の割合も比較的高くなっており、「50～59歳」以上の年代では3割を超えています。「30～39歳」「40～49歳」では、「子育てに関する活動」の割合が高くなっています。

	全体 (N=554)	20歳未満 (N=3)	20～29 歳 (N=19)	30～39 歳 (N=34)	40～49 歳 (N=68)	50～59 歳 (N=85)	60～64 歳 (N=56)	65～69 歳 (N=65)	70～74 歳 (N=101)	75歳以上 (N=113)
自治会に関する活動	70.2	66.7	42.1	50.0	66.2	71.8	47.5	73.8	78.2	65.5
人権が尊重されるまちづくりに関する活動	2.9	-	-	-	-	3.5	3.6	4.6	3.0	3.5
女性の権利の擁護や男女共同参画に関する活動	1.6	-	-	-	-	1.2	1.8	3.1	2.0	1.8
保健に関する活動	2.0	-	-	2.9	-	1.2	1.8	-	3.0	4.4
高齢者に関する活動	13.4	-	-	5.9	1.5	5.9	7.1	15.4	17.8	29.2
子育てに関する活動	9.9	-	10.5	41.2	33.8	11.8	3.6	-	1.0	2.7
青少年に関する活動	3.1	-	10.5	-	4.4	2.4	3.6	1.5	4.0	2.7
スポーツに関する活動	13.7	-	21.1	8.8	20.6	18.8	14.3	7.7	12.9	11.5
文化・芸術に関する活動	5.6	-	15.8	2.9	4.4	3.5	12.5	3.1	6.9	4.4
防災・防犯・消防に関する活動	6.9	-	-	5.9	2.9	7.1	5.4	9.2	10.9	6.2
公民館に関する活動	32.3	33.3	15.8	29.4	25.0	31.8	35.7	35.4	42.6	28.3
外国人に対する支援活動	1.4	-	5.3	2.9	2.9	-	1.8	-	1.0	1.8
障がいのある人に関する活動	1.6	-	-	-	1.5	1.2	3.6	1.5	1.0	2.7
環境に関する活動	18.2	33.3	15.8	17.6	23.5	16.5	21.4	18.5	17.8	14.2
その他	1.8	33.3	-	-	-	7.1	1.8	3.1	-	-
無回答・不明	3.8	-	5.3	-	-	-	5.4	4.6	4.0	8.0

問 15-2 (問15で④) 参加されない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「仕事を持っているので時間がない」が43.8%で最も高くなっています。次いで「健康や体力に自信がない」が27.4%、「一緒に活動する仲間や友人がいない」が26.4%が続いています。



【その他】(抜粋)

- ・ 障がいがあるため。
- ・ 学生だから。
- ・ 役員をしなくてはならなくなる。
- ・ 地元じゃないので関りもきっかけもない。市報さえももらえない。
- ・ 親が参加しているので私はしていません。
- ・ 自治会がない。
- ・ 住人のほとんどが高齢者、若い人が転入してきても関わらない。

【地区別クロス集計】

地区別にみると、すべての地区で「仕事を持っているので時間がない」「健康や体力に自信がない」「一緒に活動する仲間や友人がいない」の割合が高くなっています。「筑穂地区」では、他と比較して「仕事を持っているので時間がない」の割合が非常に低く、「健康や体力に自信がない」が最も高くなっています。

	合計 (N=420)	飯塚地区 (N=254)	穂波地区 (N=85)	筑穂地区 (N=26)	庄内地区 (N=28)	穎田地区 (N=9)
仕事を持っているので時間がない	43.8	45.3	45.9	19.2	53.6	33.3
家事や育児に忙しくて時間がない	11.7	10.6	17.6	3.8	14.3	11.1
家族の理解がない	1.2	0.8	2.4	3.8	-	-
病人・高齢者などの介護で時間がない	7.9	7.1	7.1	3.8	14.3	11.1
健康や体力に自信がない	27.4	25.2	27.1	38.5	35.7	33.3
行事や活動に関する情報がない	15.7	16.5	18.8	-	21.4	-
人間関係がわずらわしい	13.6	14.6	12.9	-	21.4	11.1
子どもをみてくれる人や施設がない	3.6	3.1	5.9	-	7.1	-
身近なところに活動の場がない	10.7	11.8	9.4	7.7	7.1	11.1
興味の持てる活動が見つからない	11.9	13.0	10.6	7.7	17.9	11.1
一緒に活動する仲間や友人がいない	26.4	26.0	29.4	26.9	28.6	33.3
活動に経費がかかる	3.6	2.4	5.9	7.7	-	11.1
その他	7.1	7.5	7.1	3.8	10.7	-
無回答・不明	3.8	2.8	3.5	11.5	-	22.2

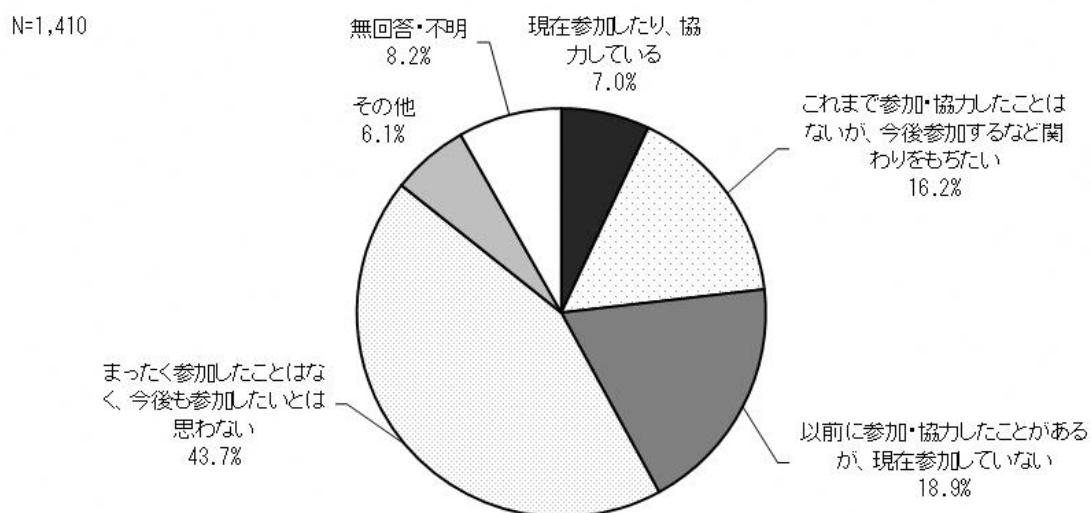
【年代別クロス集計】

年代別にみると、「60～64歳」までの世代では「仕事を持っているので時間がない」の割合が高く、それ以上の年代では「健康や体力に自信がない」の割合が高くなっています。「30～39歳」では「家事や育児に忙しくて時間がない」の割合が高くなっています。また、「一緒に活動する仲間や友人がいない」も全体的に高くなっています。

	全体 (N=420)	20歳未満 (N=2)	20～29歳 (N=37)	30～39歳 (N=31)	40～49歳 (N=57)	50～59歳 (N=54)	60～64歳 (N=38)	65～69歳 (N=38)	70～74歳 (N=48)	75歳以上 (N=105)
仕事を持っているので時間がない	43.8	100.0	51.4	74.2	38.9	74.1	60.5	21.1	27.1	6.7
家事や育児に忙しくて時間がない	11.7	-	24.3	71.0	21.1	9.3	-	-	-	1.0
家族の理解がない	1.2	-	-	6.5	3.5	-	-	2.6	-	-
病人・高齢者などの介護で時間がない	7.9	-	-	3.2	3.5	18.5	7.9	5.3	8.3	9.5
健康や体力に自信がない	27.4	-	8.1	6.5	8.8	14.8	23.7	39.5	31.3	54.3
行事や活動に関する情報がない	15.7	-	27.0	32.3	10.5	16.7	13.2	15.8	20.8	7.6
人間関係がわずらわしい	13.6	-	8.1	12.9	12.3	9.3	23.7	15.8	20.8	10.5
子どもをみてくれる人や施設がない	3.6	-	13.5	22.6	3.5	1.9	-	-	-	-
身近なところに活動の場がない	10.7	50.0	16.2	12.9	10.5	1.9	7.9	15.8	12.5	9.5
興味を持てる活動が見つからない	11.9	-	5.4	19.4	8.8	11.1	21.1	7.9	18.8	10.5
一緒に活動する仲間や友人がいない	26.4	50.0	37.8	35.5	28.1	38.9	26.3	26.3	27.1	11.4
活動に経費がかかる	3.6	-	5.4	3.2	-	-	13.2	5.3	6.3	1.0
その他	7.1	-	5.4	-	7.0	5.6	5.3	10.5	4.2	12.4
無回答・不明	3.8	-	2.7	-	3.5	-	-	5.3	2.1	8.6

問16 あなたは、まちづくり、スポーツ等のNPO活動、ひとり暮らしのお年寄りの見守りや子育て支援等のボランティア活動(【問16-1】の項目に該当する活動)に参加したり、協力したりしたことがありますか。(ひとつだけ)

「まったく参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」が43.7%で最も高くなっています。次いで「以前に参加・協力したことがあるが、現在参加していない」が18.9%、「これまで参加・協力したことはないが、今後参加するなど関わりをもちたい」が16.2%で続いています。



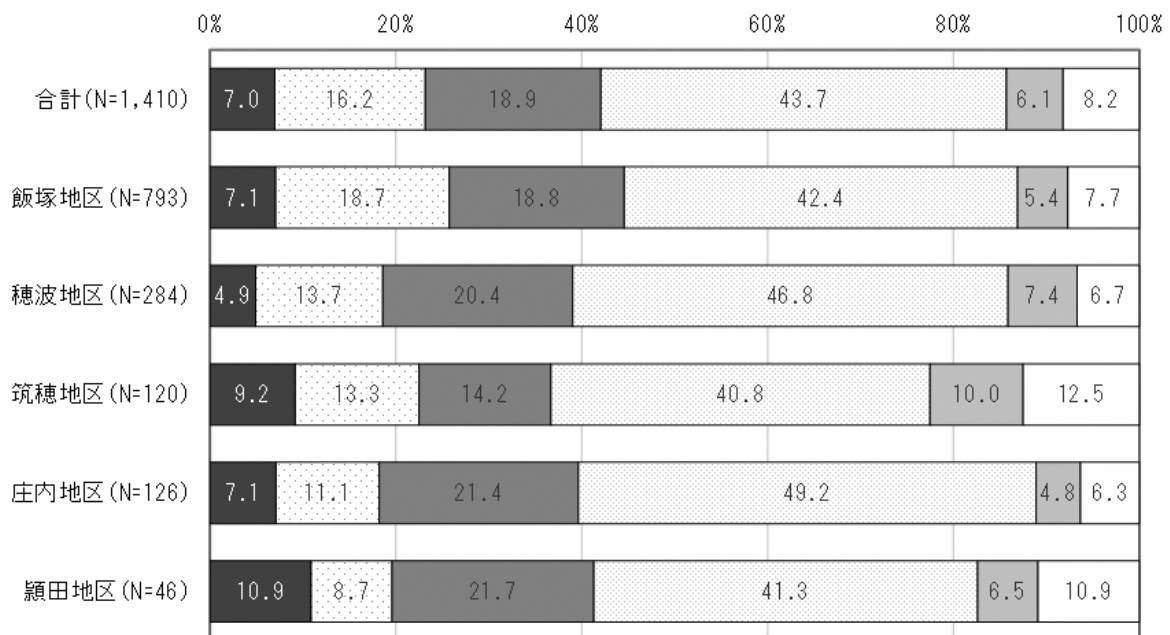
【その他】(抜粋)

- ・ 気持ちはありますが、高齢なので体力、気力に自信がありません。
- ・ 仕事をしているので参加できない。
- ・ 自分の今の生活が精一杯で参加する余裕がない。
- ・ ひとり暮らしの方への声掛け、様子など、個人的に伺っています。

【地区別クロス集計】

地区別にみると、「現在参加したり、協力している」については、「穎田地区」が最も高くなっており、最も低いのは「穂波地区」となっています。「これまで参加・協力したことはないが、今後参加するなど関わりをもちたい」については、「飯塚地区」が最も高くなっていきます。

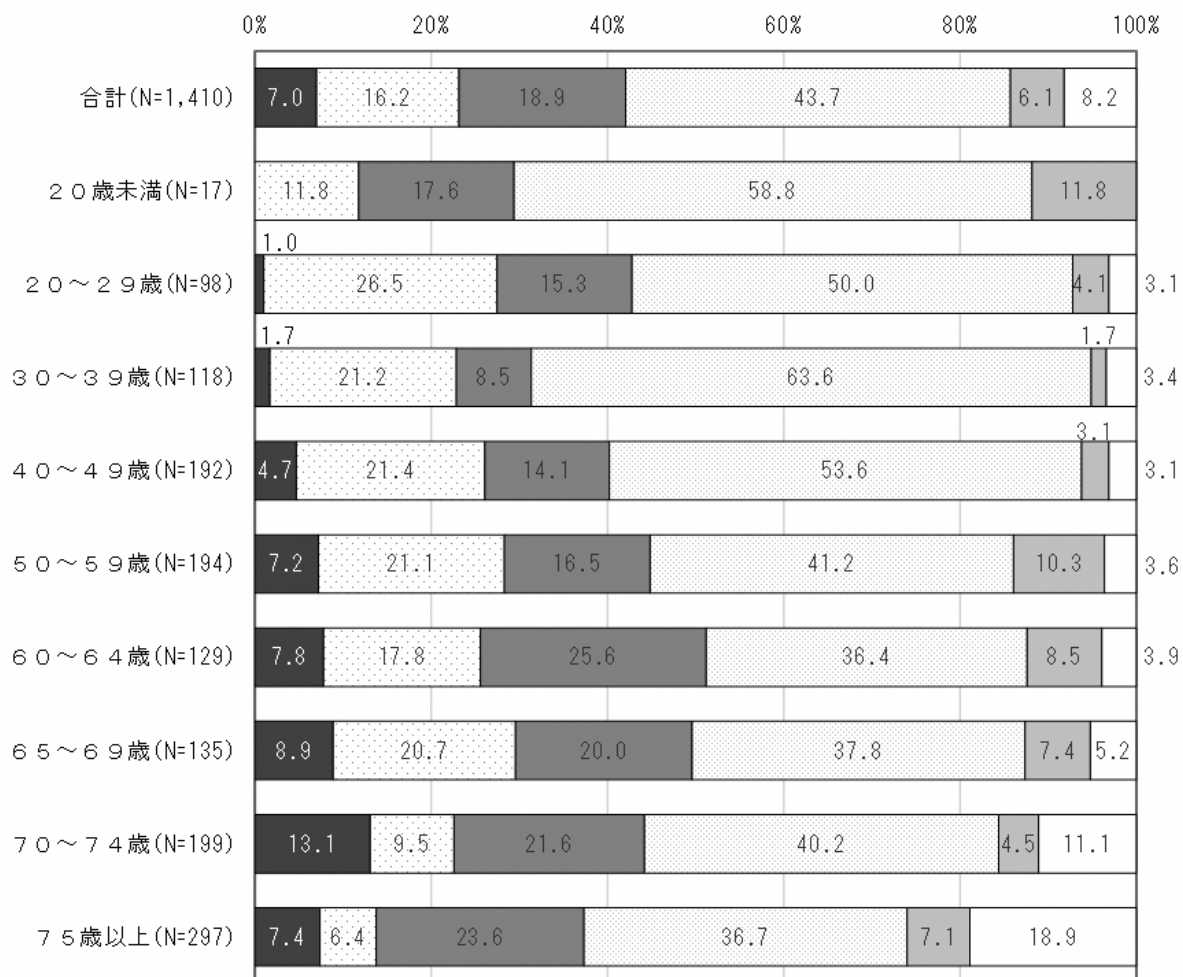
「まったく参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」については、「庄内地区」が最も高くなっており、「筑穂地区」で最も低くなっています。



- 現在参加したり、協力している
- これまで参加・協力したことはないが、今後参加するなど関わりをもちたい
- 以前に参加・協力したことがあるが、現在参加していない
- まったく参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない
- その他
- 無回答・不明

【年代別クロス集計】

年代別にみると、すべての年代で「まったく参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」が最も高くなっています。「これまで参加・協力したことはないが、今後参加するなど関わりをもちたい」については、「20～29歳」から「65～69歳」の年代で約2～3割となっています。

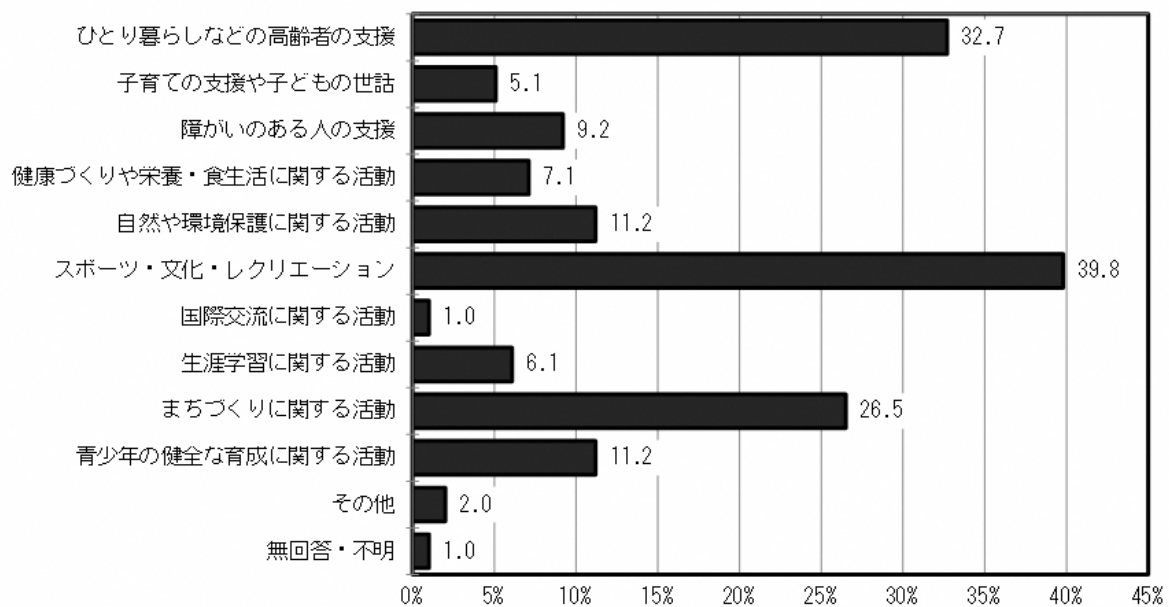


- 現在参加したり、協力している
- これまで参加・協力したことはないが、今後参加するなど関わりをもちたい
- 以前に参加・協力したことがあるが、現在参加していない
- まったく参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない
- その他
- 無回答・不明

問16-1(問16で①) あなたは、どのようなボランティア活動に参加・協力していますか。(あてはまるものすべてに○)

「スポーツ・文化・レクリエーション」が39.8%で最も高くなっています。次いで「ひとり暮らしなどの高齢者の支援」が32.7%、「まちづくりに関する活動」が26.5%が続いています。

N=98



【その他】(抜粋)

- ・ NPO 会員。
- ・ 手話サークル会員。
- ・ フレイルサポーター。
- ・ バルーンアート。

【参考】

【地域別クロス集計】

	合計 (N=98)	飯塚地区 (N=56)	穂波地区 (N=14)	筑穂地区 (N=11)	庄内地区 (N=9)	樋田地区 (N=5)
ひとり暮らしなどの高齢者の支援	32.7	26.8	28.6	45.5	33.3	40.0
子育ての支援や子どもの世話	5.1	5.4	7.1	9.1	-	-
障がいのある人の支援	9.2	10.7	-	9.1	-	20.0
健康づくりや栄養・食生活に関する活動	7.1	3.6	14.3	-	22.2	20.0
自然や環境保護に関する活動	11.2	14.3	14.3	-	11.1	-
スポーツ・文化・レクリエーション	39.8	41.1	35.7	27.3	66.7	-
国際交流に関する活動	1.0	1.8	-	-	-	-
生涯学習に関する活動	6.1	7.1	-	-	11.1	20.0
まちづくりに関する活動	26.5	25.0	21.4	45.5	33.3	20.0
青少年の健全な育成に関する活動	11.2	14.3	-	9.1	22.2	-
その他	2.0	1.8	-	-	11.1	-
無回答・不明	1.0	-	-	-	-	20.0

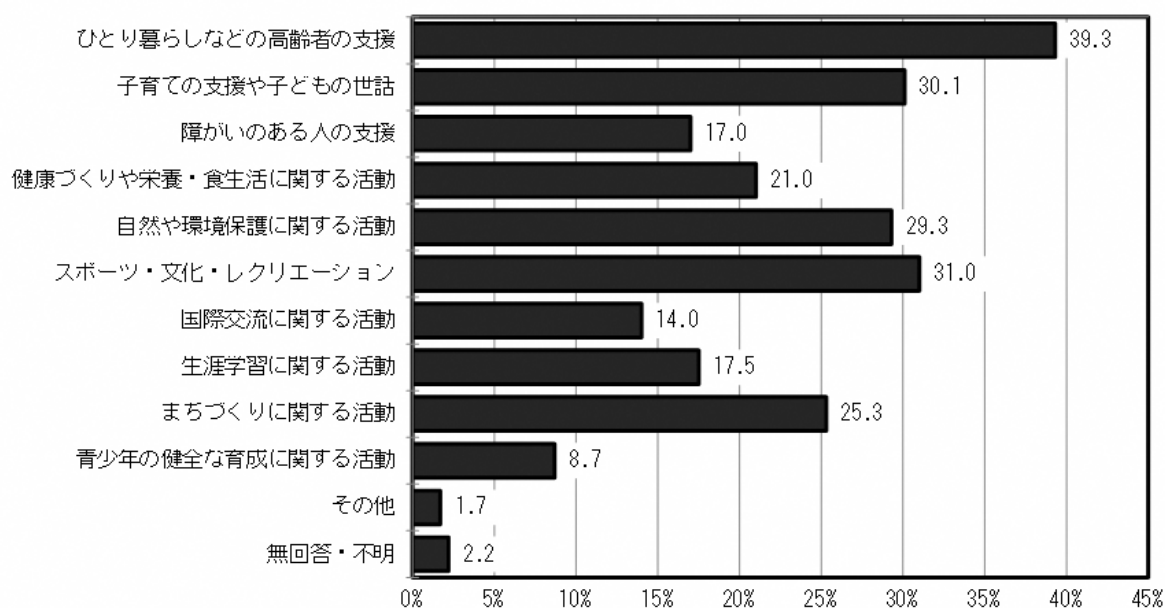
【年代別クロス集計】

	全体 (N=98)	20歳未満 (N=)	20~29歳 (N=1)	30~39歳 (N=2)	40~49歳 (N=9)	50~59歳 (N=14)	60~64歳 (N=10)	65~69歳 (N=12)	70~74歳 (N=26)	75歳以上 (N=22)
ひとり暮らしなどの高齢者の支援	32.7	-	100.0	-	-	7.1	10.0	50.0	50.0	36.4
子育ての支援や子どもの世話	5.1	-	-	-	33.3	-	20.0	-	-	-
障がいのある人の支援	9.2	-	-	-	22.2	7.1	10.0	-	-	18.2
健康づくりや栄養・食生活に関する活動	7.1	-	-	-	-	-	-	16.7	11.5	9.1
自然や環境保護に関する活動	11.2	-	-	-	-	28.6	-	8.3	7.7	18.2
スポーツ・文化・レクリエーション	39.8	-	-	50.0	55.6	50.0	40.0	16.7	50.0	27.3
国際交流に関する活動	1.0	-	-	-	-	-	-	-	3.8	-
生涯学習に関する活動	6.1	-	-	-	-	-	20.0	-	7.7	9.1
まちづくりに関する活動	26.5	-	-	-	44.4	21.4	40.0	33.3	23.1	22.7
青少年の健全な育成に関する活動	11.2	-	-	50.0	-	14.3	20.0	-	19.2	4.5
その他	2.0	-	-	-	-	7.1	-	-	3.8	-
無回答・不明	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5

問16-2(問16で②) あなたは、今後、どのような活動に参加したいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「ひとり暮らしなどの高齢者の支援」が39.3%で最も高くなっています。次いで「スポーツ・文化・レクリエーション」が31.0%、「子育ての支援や子どもの世話」が30.1%が続いています。

N=229



【その他】(抜粋)

- ・ 町内で学童の安全。
- ・ 虐待を受けた人の子育て支援。親に寄り添う支援。

【参考】

【地域別クロス集計】

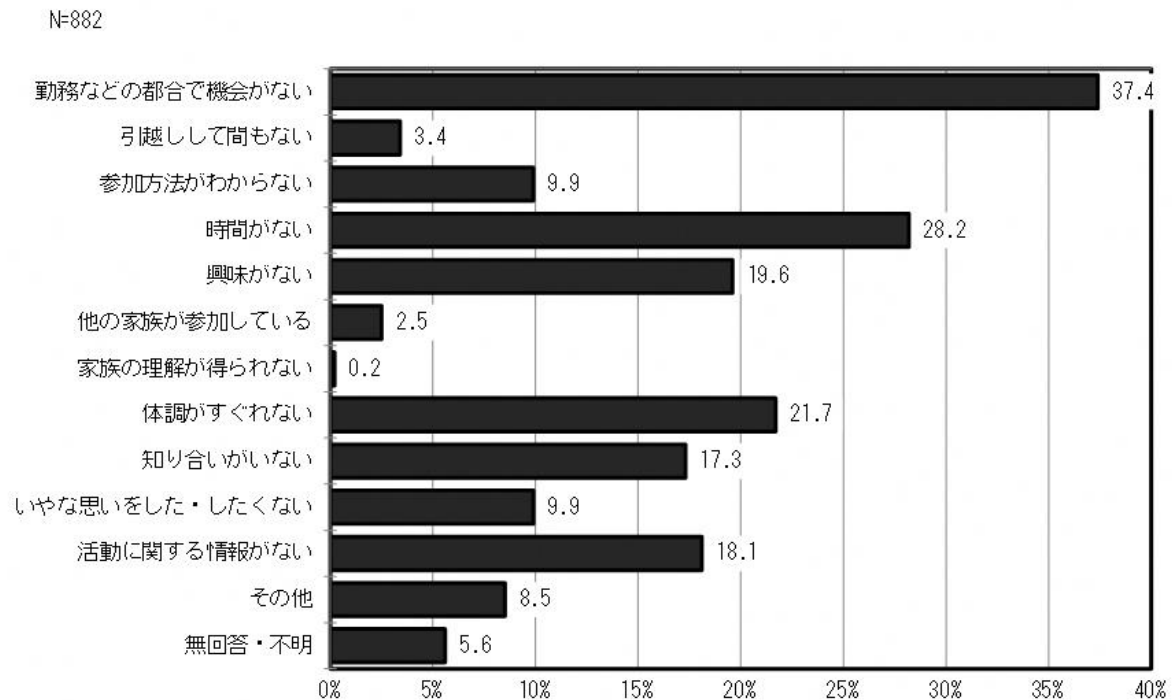
	合計 (N=229)	飯塚地区 (N=148)	穂波地区 (N=39)	筑穂地区 (N=16)	庄内地区 (N=14)	穎田地区 (N=4)
ひとり暮らしなどの高齢者の支援	39.3	37.8	35.9	50.0	42.9	50.0
子育ての支援や子どもの世話	30.1	28.4	30.8	12.5	35.7	50.0
障がいのある人の支援	17.0	17.6	15.4	12.5	21.4	50.0
健康づくりや栄養・食生活に関する活動	21.0	22.3	25.6	6.3	7.1	25.0
自然や環境保護に関する活動	29.3	29.7	25.6	43.8	21.4	25.0
スポーツ・文化・レクリエーション	31.0	35.1	20.5	12.5	50.0	-
国際交流に関する活動	14.0	14.9	12.8	6.3	21.4	-
生涯学習に関する活動	17.5	19.6	20.5	12.5	7.1	-
まちづくりに関する活動	25.3	25.0	20.5	37.5	14.3	75.0
青少年の健全な育成に関する活動	8.7	9.5	5.1	-	21.4	25.0
その他	1.7	2.0	-	-	7.1	-
無回答・不明	2.2	1.4	5.1	-	7.1	-

【年代別クロス集計】

	全体 (N=229)	20歳未満 (N=2)	20～29歳 (N=26)	30～39歳 (N=25)	40～49歳 (N=41)	50～59歳 (N=41)	60～64歳 (N=23)	65～69歳 (N=28)	70～74歳 (N=19)	75歳以上 (N=19)
ひとり暮らしなどの高齢者の支援	39.3	50.0	26.9	32.0	31.7	43.9	39.1	57.1	47.4	31.6
子育ての支援や子どもの世話	30.1	50.0	34.6	64.0	39.0	34.1	13.0	25.0	5.3	5.3
障がいのある人の支援	17.0	-	7.7	28.0	22.0	14.6	13.0	17.9	26.3	5.3
健康づくりや栄養・食生活に関する活動	21.0	50.0	15.4	40.0	17.1	17.1	13.0	7.1	36.8	26.3
自然や環境保護に関する活動	29.3	50.0	19.2	20.0	31.7	22.0	21.7	35.7	42.1	47.4
スポーツ・文化・レクリエーション	31.0	50.0	53.8	28.0	29.3	31.7	34.8	28.6	26.3	10.5
国際交流に関する活動	14.0	50.0	23.1	20.0	17.1	14.6	17.4	-	10.5	5.3
生涯学習に関する活動	17.5	-	11.5	20.0	14.6	22.0	21.7	17.9	15.8	21.1
まちづくりに関する活動	25.3	-	30.8	24.0	24.4	31.7	17.4	28.6	10.5	31.6
青少年の健全な育成に関する活動	8.7	-	7.7	4.0	12.2	9.8	8.7	17.9	-	5.3
その他	1.7	-	3.8	-	4.9	-	-	-	-	5.3
無回答・不明	2.2	-	-	-	2.4	-	-	-	5.3	15.8

問 16-3 (問16で③か④) 現在活動に参加していない理由、参加したいと思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「勤務などの都合で機会がない」が37.4%で最も高くなっています。次いで「時間がない」が28.2%、「体調がすぐれない」が21.7%で続いています。



【その他】(抜粋)

- ・ 高齢のため。
- ・ 外出がひとりでできない。
- ・ 友人が辞めたため。
- ・ したくてもコロナでできない。
- ・ 過去にボランティア、地域活動にたくさん参加していたが、とてつもなく個人の時間がとられる。意外とお金も使う。どんどん仕事が増えてくる。引越しを機に地域との繋がりを断った。心にゆとりのある生活がしたい。
- ・ 今は活動していたものが無くなったため。
- ・ 参加の機会がない。

【地区別クロス集計】

地区別にみると、「飯塚地区」では「勤務などの都合で機会がない」「時間がない」「体調がすぐれない」が高くなっています。

「穂波地区」では「時間がない」「勤務などの都合で機会がない」「活動に関する情報がない」が高くなっています。

「筑穂地区」では「勤務などの都合で機会がない」「活動に関する情報がない」「時間がない」「知り合いがいない」が高くなっています。

「庄内地区」では「勤務などの都合で機会がない」「時間がない」「体調がすぐれない」が高くなっています。

「穎田地区」では「勤務などの都合で機会がない」「時間がない」「興味がない」が高くなっています。

	合計 (N=882)	飯塚地区 (N=485)	穂波地区 (N=191)	筑穂地区 (N=66)	庄内地区 (N=89)	穎田地区 (N=29)
勤務などの都合で機会がない	37.4	37.7	30.4	48.5	42.7	31.0
引越して間もない	3.4	3.7	4.2	-	3.4	-
参加方法がわからない	9.9	9.5	12.0	15.2	3.4	6.9
時間がない	28.2	26.6	30.9	19.7	33.7	27.6
興味がない	19.6	20.4	22.5	7.6	20.2	20.7
他の家族が参加している	2.5	2.5	2.1	1.5	3.4	3.4
家族の理解が得られない	0.2	0.4	-	-	-	-
体調がすぐれない	21.7	22.5	22.0	15.2	23.6	13.8
知り合いがいない	17.3	16.1	18.3	19.7	19.1	17.2
いやな思いをした・したくない	9.9	11.1	9.4	3.0	9.0	6.9
活動に関する情報がない	18.1	16.7	23.6	24.2	12.4	13.8
その他	8.5	9.5	4.7	7.6	11.2	13.8
無回答・不明	5.6	3.5	8.9	10.6	7.9	-

【年代別クロス集計】

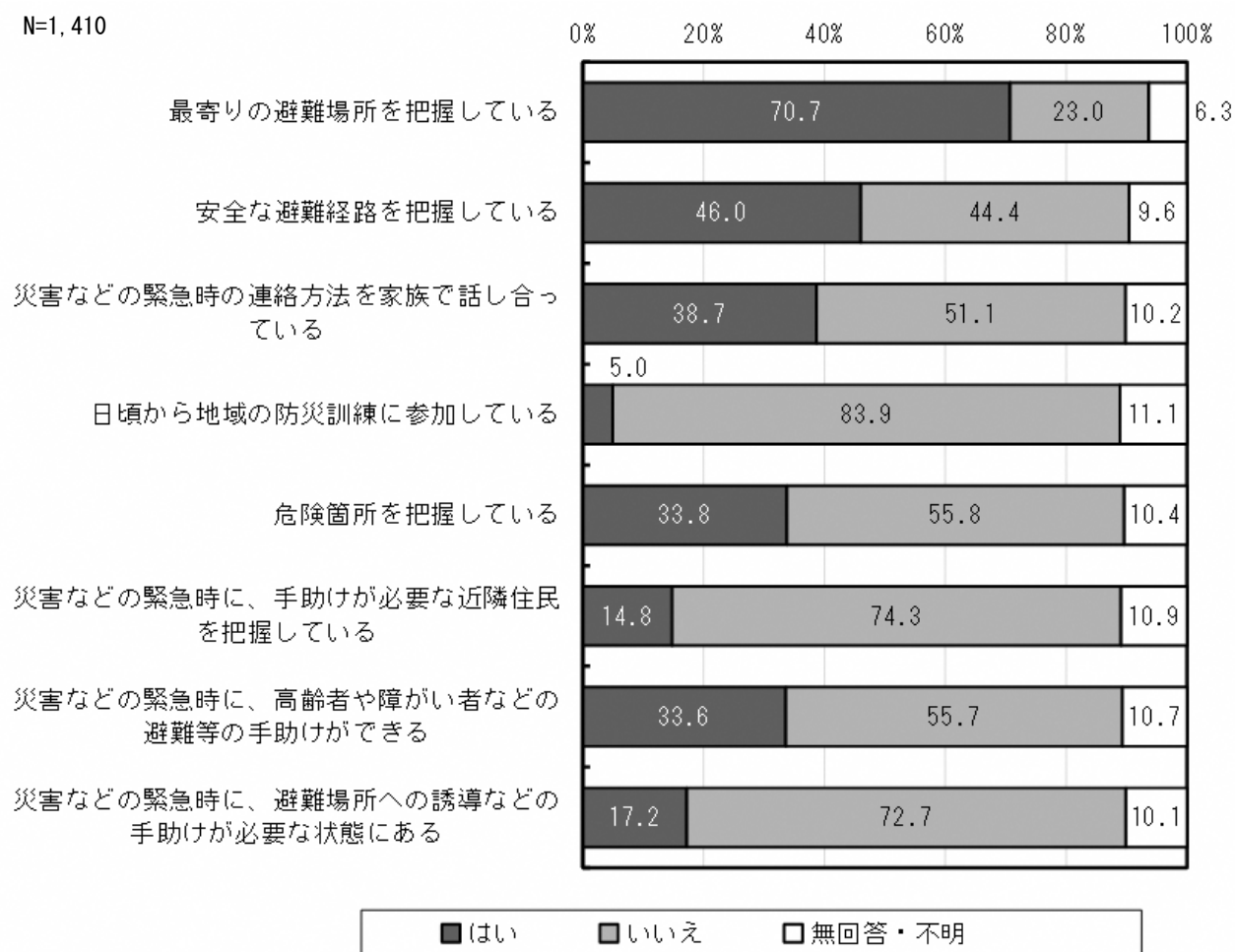
年代別にみると、全体的に「勤務などの都合で機会がない」の割合が高くなっています。「60～64歳」以下の年代では、「時間がない」の割合が高くなっています。「65～69歳」以上の年代では、「体調がすぐれない」の割合が高くなっています。「30～39歳」「40～49歳」では「知り合いがいない」の割合が高くなっています。

	全体 (N=882)	20歳未満 (N=13)	20～29歳 (N=64)	30～39歳 (N=85)	40～49歳 (N=130)	50～59歳 (N=112)	60～64歳 (N=80)	65～69歳 (N=78)	70～74歳 (N=123)	75歳以上 (N=179)
勤務などの都合で機会がない	37.4	30.8	48.4	58.8	63.8	58.9	50.0	24.4	16.3	7.3
引越して間もない	3.4	15.4	9.4	7.1	2.3	3.6	6.3	2.6	-	1.1
参加方法がわからない	9.9	15.4	15.6	21.2	15.4	8.0	8.8	5.1	6.5	5.0
時間がない	28.2	61.5	48.4	51.8	48.5	32.1	26.2	14.1	17.1	5.6
興味がない	19.6	23.1	32.8	27.1	19.2	20.5	15.0	16.7	22.0	13.4
他の家族が参加している	2.5	-	4.7	-	3.8	1.8	1.3	2.6	3.3	2.8
家族の理解が得られない	0.2	-	-	-	-	-	-	-	0.8	0.6
体調がすぐれない	21.7	-	7.8	4.7	6.2	12.5	21.3	23.1	37.4	40.2
知り合いがいない	17.3	46.2	25.0	32.9	22.3	12.5	12.5	19.2	12.2	10.6
いやな思いをした・したくない	9.9	7.7	6.3	11.8	13.8	15.2	7.5	5.1	8.1	9.5
活動に関する情報がない	18.1	53.8	28.1	24.7	20.0	17.0	23.8	20.5	10.6	10.1
その他	8.5	7.7	1.6	3.5	3.8	4.5	11.3	9.0	7.3	17.3
無回答・不明	5.6	-	3.1	1.2	4.6	6.3	2.5	5.1	6.5	9.5

■防災対策について

問 17 あなたは、防災に対する日頃からの取り組みをどのようにされ、災害などの緊急時の対応について、どのように考えていますか。

「はい」と回答した割合が高くなっているのは、「最寄りの避難場所を把握している」(70.7%)、「安全な避難経路を把握している」(46.0%)、「災害などの緊急時の連絡方法を家族で話し合っている」(38.7%) となっています。



【地域別クロス集計】

問 17 の各設問において地域別に「はい」と回答した人の割合をみると、「最寄りの避難場所を把握している」においては、「穎田地区」が比較的に低くなっています。また、「安全な避難経路を把握している」においては、「穎田地区」の割合が低くなっています。「災害などの緊急時に、手助けが必要な近隣住民を把握している」においては、「筑穂地区」「穎田地区」が高くなっています。「災害などの緊急時に、高齢者や障がい者などの避難等の手助けができる」においては、「穎田地区」が低くなっています。

【問 17 で「はい」と回答した人の割合】

	合計 (N=1,410)	飯塚地区 (N=793)	穂波地区 (N=284)	筑穂地区 (N=120)	庄内地区 (N=126)	穎田地区 (N=46)
最寄りの避難場所を把握している	70.7	71.8	71.5	72.5	67.5	60.9
安全な避難経路を把握している	46.0	47.3	44.0	49.2	46.0	39.1
災害などの緊急時の連絡方法を家族で話し合っている	38.7	38.1	39.4	39.2	40.5	39.1
日頃から地域の防災訓練に参加している	5.0	5.7	3.2	5.8	4.8	6.5
危険箇所を把握している	33.8	33.9	31.7	35.8	35.7	32.6
災害などの緊急時に、手助けが必要な近隣住民を把握している	14.8	11.7	15.5	26.7	17.5	21.7
災害などの緊急時に、高齢者や障がい者などの避難等の手助けができる	33.6	33.5	34.2	35.8	34.1	21.7
災害などの緊急時に、避難場所への誘導などの手助けが必要な状態にある	17.2	18.4	16.2	15.8	15.9	15.2

【年代別クロス集計】

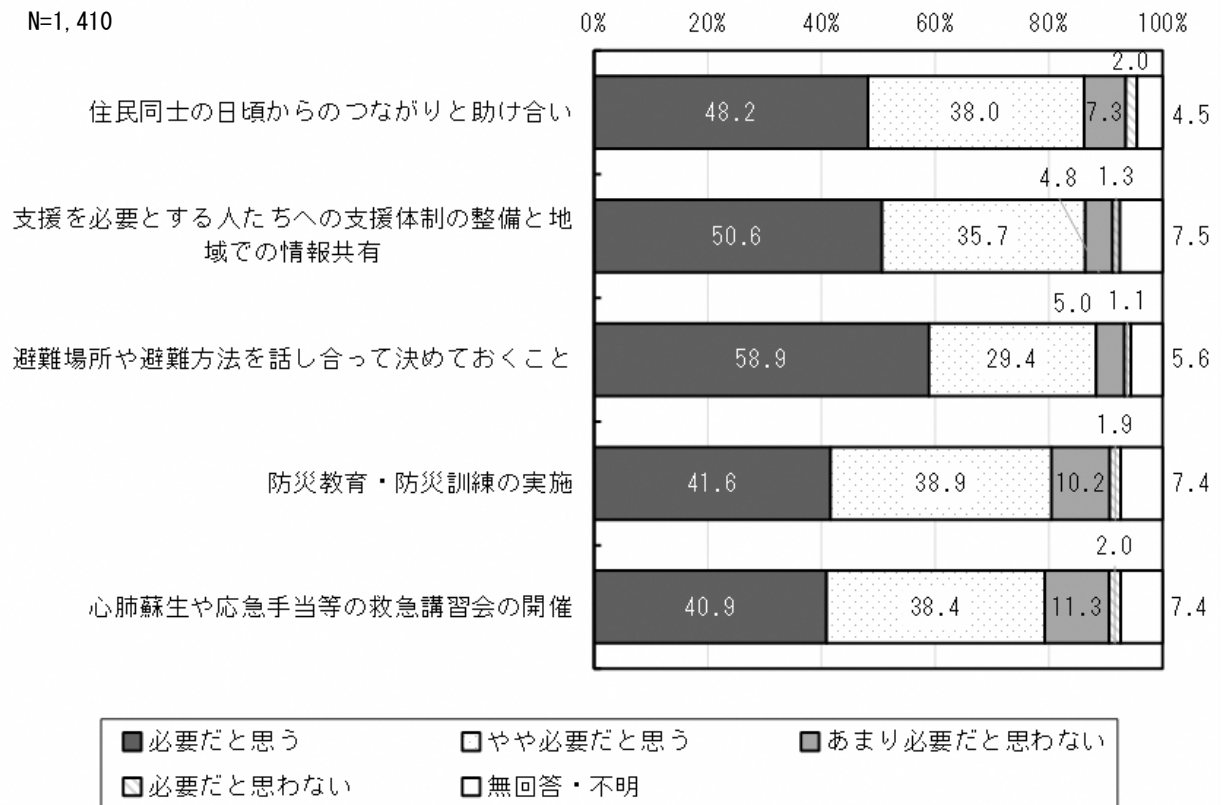
問 17 の各設問において年代別に「はい」と回答した人の割合をみると、「最寄りの避難場所を把握している」においては、「20~29 歳」「75 歳以上」が低くなっています。「安全な避難経路を把握している」においては、「20~29 歳」「30~39 歳」が低くなっています。「危険箇所を把握している」においては、「20~29 歳」で低く、「65~69 歳」で高くなっています。「災害などの緊急時に、高齢者や障がい者などの避難等の手助けができる」においては、「20~29 歳」「50~59 歳」「60~64 歳」が高くなっています。

【問 17 で「はい」と回答した人の割合】

	合計 (N=1,410)	20歳未満 (N=17)	20~29歳 (N=98)	30~39歳 (N=118)	40~49歳 (N=192)	50~59歳 (N=194)	60~64歳 (N=129)	65~69歳 (N=135)	70~74歳 (N=297)	75歳以上 (N=194)
最寄りの避難場所を把握している	70.7	82.4	57.1	66.9	77.6	71.1	75.2	75.6	77.9	62.6
安全な避難経路を把握している	46.0	47.1	21.4	36.4	44.8	42.8	49.6	54.8	54.3	49.5
災害などの緊急時の連絡方法を家族で話し合っている	38.7	17.6	31.6	34.7	43.2	42.8	45.0	38.5	38.7	35.7
日頃から地域の防災訓練に参加している	5.0	5.9	-	0.8	3.1	6.7	4.7	8.9	7.5	4.7
危険箇所を把握している	33.8	35.3	21.4	28.0	33.3	35.1	38.8	40.0	37.2	32.0
災害などの緊急時に、手助けが必要な近隣住民を把握している	14.8	5.9	8.2	3.4	10.4	12.4	18.6	21.5	24.1	15.2
災害などの緊急時に、高齢者や障がい者などの避難等の手助けができる	33.6	52.9	45.9	28.8	39.1	42.8	42.6	40.0	34.2	14.5
災害などの緊急時に、避難場所への誘導などの手助けが必要な状態にある	17.2	5.9	11.2	17.8	6.8	8.8	14.7	14.1	17.6	33.0

問18 地域における災害対策について、どのように思いますか。それぞれあてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものに○)

全ての項目において、「必要だと思う」と「やや必要だと思う」の合計は、8割程度となっています。



【地域別クロス集計】

問 18 の各設問において地域別に「必要」（「必要だと思う」と「やや必要だと思う」と回答した人の合計。以下同様）と回答した人の割合をみると、「防災教育・防災訓練の実施」「心肺蘇生や応急手当等の救急講習会の開催」において、「穎田地区」の割合が比較的に低くなっています。

【問 18 で「必要」と回答した人の割合】

	合計 (N=1,410)	飯塚地区 (N=793)	穂波地区 (N=284)	筑穂地区 (N=120)	庄内地区 (N=126)	穎田地区 (N=46)
住民同士の日頃からのつながりと助け合い	86.2	87.1	85.2	88.4	87.3	82.6
支援を必要とする人々への支援体制の整備と地域での情報共有	86.3	86.1	86.3	85.0	92.1	87.0
避難場所や避難方法を話し合っておくこと	88.3	87.9	89.0	89.1	92.0	84.7
防災教育・防災訓練の実施	80.5	81.9	81.4	75.8	81.0	73.9
心肺蘇生や応急手当等の救急講習会の開催	79.3	80.8	78.5	77.5	80.1	71.7

【年代別クロス集計】

問 18 の各設問において地域別に「必要」と回答した人の割合をみると、「支援を必要とする人々への支援体制の整備と地域での情報共有」「避難場所や避難方法を話し合っておくこと」「防災教育・防災訓練の実施」「心肺蘇生や応急手当等の救急講習会の開催」において、「75歳以上」の割合が全体の平均より大きく下回っています。

	合計 (N=1,410)	20歳未満 (N=17)	20～29歳 (N=98)	30～39歳 (N=118)	40～49歳 (N=192)	50～59歳 (N=194)	60～64歳 (N=129)	65～69歳 (N=135)	70～74歳 (N=297)	75歳以上 (N=194)
住民同士の日頃からのつながりと助け合い	86.2	88.2	85.7	77.2	87.5	86.6	94.5	89.6	87.5	83.1
支援を必要とする人々への支援体制の整備と地域での情報共有	86.3	88.2	92.9	89.0	93.7	90.7	93.0	91.9	83.5	72.4
避難場所や避難方法を話し合っておくこと	88.3	88.2	92.9	92.4	95.9	90.7	91.4	91.9	86.4	76.8
防災教育・防災訓練の実施	80.5	88.3	84.7	83.9	88.5	90.3	83.7	82.9	75.4	68.7
心肺蘇生や応急手当等の救急講習会の開催	79.3	88.2	81.7	81.4	85.5	88.7	81.4	84.4	76.4	66.7